



足立区 学校保健統計書

令和5年度

目 次

1 児童・生徒の発育状態

- (1) 身体測定（身長・体重）の平均値 1
- (2) 肥満度集計 3

2 貧血・小児生活習慣病予防健診

- (1) 小児生活習慣病予防健診 7
- (2) 貧血検査 13

巻末【資料1】貧血・小児生活習慣病予防健診 判定基準 38

3 定期健康診断疾病異常調査

- (1) 定期健康診断の受診状況 14
- (2) 四肢異常 14
- (3) 視力検査 15
- (4) 聴力検査 16
- (5) アレルギー性疾患 17
- (6) 結核検診 21
- (7) 心臓疾患検診 22
- (8) 尿検査（腎臓検診・糖尿病検診） 23
- (9) 歯科健診 25

巻末【資料2】定期健康診断疾病異常調査の概要 39

【資料3】定期健康診断疾病異常調査 調査データの集計 42

4 脊柱側弯症検診

脊柱側弯症検診結果 30

5 就学時健康診断

就学時健康診断結果 31

6 児童・生徒の感染症り患状況

- (1) 調査の概要 32
- (2) 月別患者数 32
- (3) 過去3年間の主な感染症り患状況 33

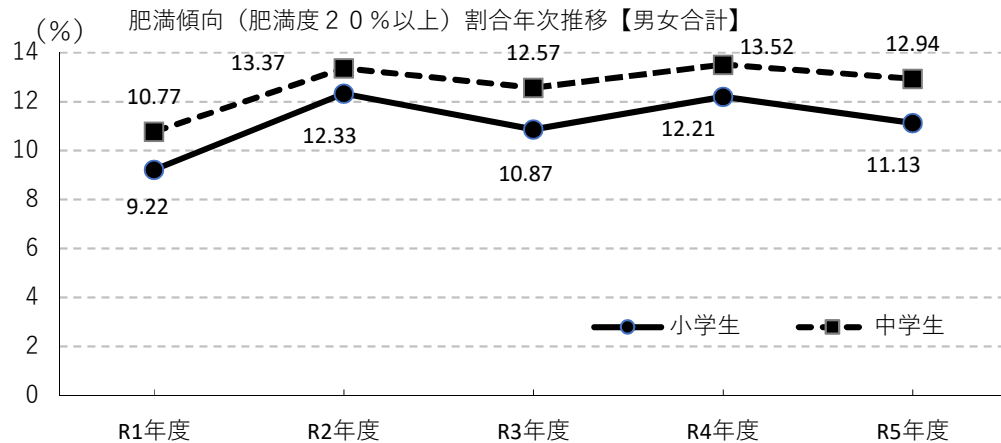
7 学校管理下における災害統計

- (1) 災害発生状況 34
- (2) 災害共済掛金および給付状況 37

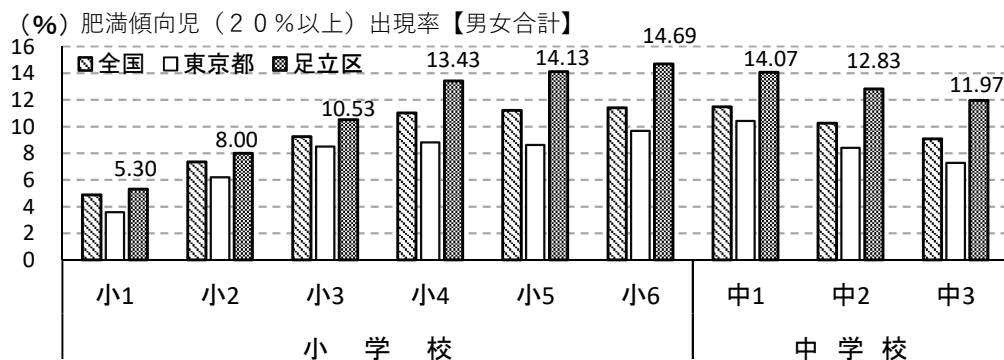
令和5年度 学校保健統計報告書概要

1 児童生徒の発育状態 【P 3～6】

(1) 肥満傾向(肥満度20%以上)の割合は、過去5年間で横ばいで推移している。

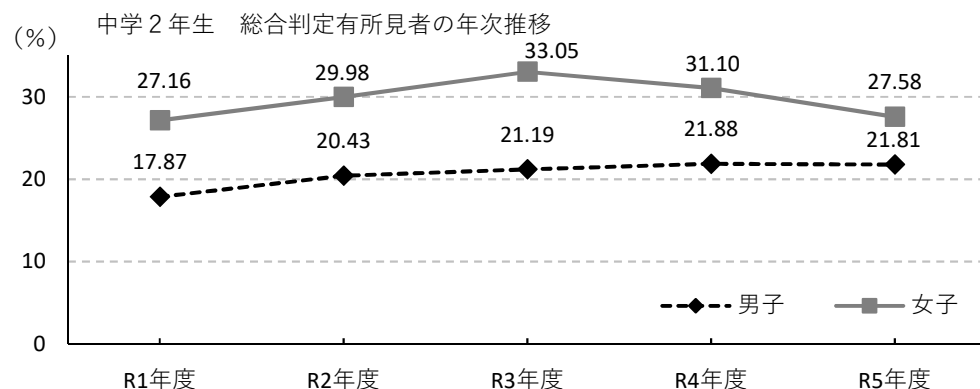


(2) すべての学年で肥満傾向の割合が全国・東京都を上回った。



2 貧血・小児生活習慣病予防健診 【P 7～13】

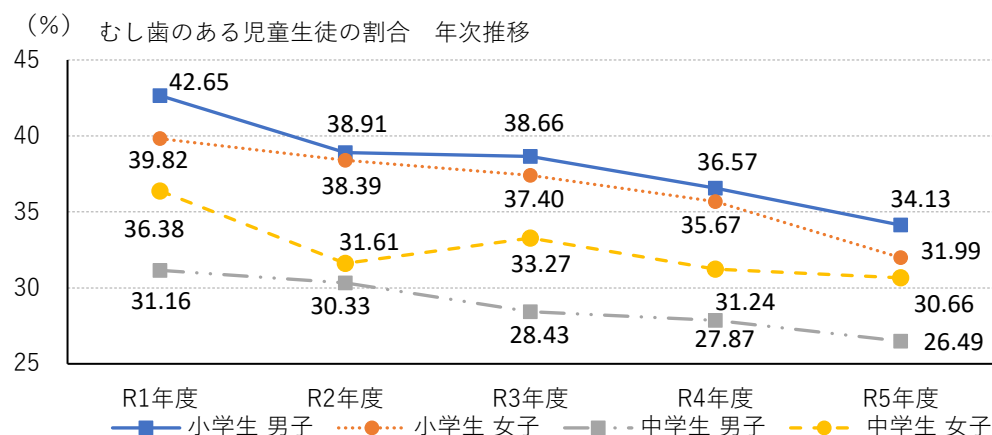
総合判定結果は、男子の4.6人に1人、女子の3.6人に1人が有所見者※だった。前年度と比較して男子は横ばい、女子は減少した。



※ 有所見とは正常・管理不要以外の診断だったもの。

3 歯科保健 【P 25～29】

むし歯のある児童・生徒の割合は減少傾向にある。



4 視力・聴力検査 【P 15・16】

- (1) 裸眼視力1.0未満の割合は女子に多い。また、男女とも学年が上がるにつれ、裸眼視力0.3未満の割合が増えていた。
- (2) 聴力検査による難聴者の割合は、全体で0.63%程度と前年度と比べると横ばいであった。

5 感染症り患状況 【P 32・33】

- (1) インフルエンザり患者数は、9月から3月にかけて増加した。
- (2) 溶連菌感染症の罹患数は、10月から急速に増加した。

6 学校管理下における災害統計 【P 34～37】

過去5年間の災害発生件数および発生率は、小学生・中学生ともに概ね横ばいであった。

※ 数字の単位未満は四捨五入を原則とした。
したがって、合計と内訳の計の数字が一致しない場合がある。

1 児童生徒の発育状態

(1) 身体測定（身長・体重）の平均値

東京都および全国の平均値と比較すると、身長・体重ともに大差はみられないが、体重はすべての学年で男女ともに全国・東京都を上回った。

表1 全国・東京都との比較

区分	年齢	性別	身長 (cm)			体重 (kg)		
			足立区	東京都	全 国	足立区	東京都	全 国
小学	小1	男子	117.2	117.2	116.9	21.8	21.6	21.6
		女子	116.2	116.1	116.0	21.4	21.0	21.2
	小2	男子	123.4	123.7	123.0	25.1	24.7	24.5
		女子	122.5	122.9	122.1	24.3	24.2	24.0
	小3	男子	129.1	129.1	128.6	28.4	28.1	27.8
		女子	128.2	128.7	127.8	27.4	27.1	27.0
	小4	男子	134.7	134.9	134.1	32.4	31.4	31.4
		女子	134.8	135.1	134.4	31.4	30.9	31.0
	小5	男子	140.3	140.2	139.6	36.6	35.6	35.3
		女子	141.8	141.9	141.4	36.0	35.1	35.3
中学	中1	男子	146.9	146.8	146.2	41.6	40.1	39.9
		女子	148.2	148.1	147.9	41.3	40.0	40.2
	中2	男子	154.7	155.1	154.2	46.5	46.5	45.8
		女子	152.6	153.0	152.3	45.5	44.3	44.5
	中3	男子	161.7	161.4	161.1	52.0	50.4	50.6
		女子	155.1	155.5	155.0	48.1	47.5	47.6

図1 全国・東京都との比較

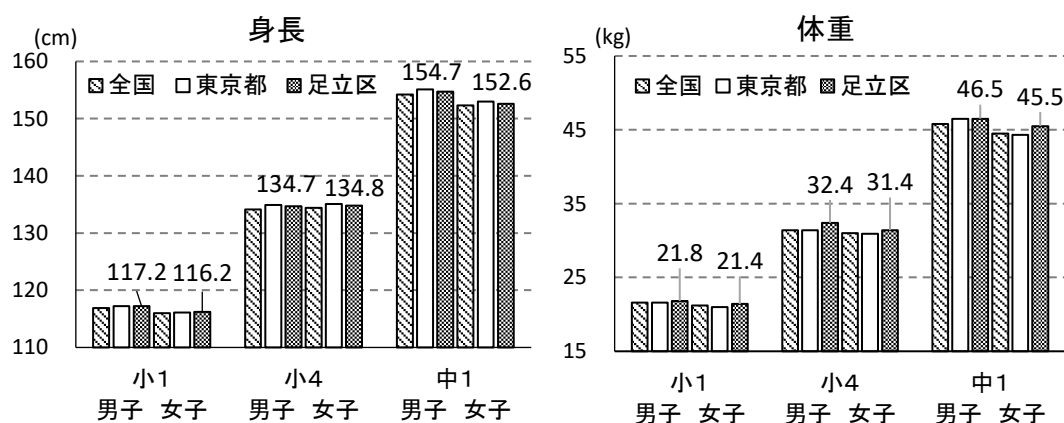


表2 年次推移 【身長の平均値】

単位 (cm)

	男子						女子					
	H13年度	H18年度	H23年度	H28年度	R3年度	R5年度	H13年度	H18年度	H23年度	H28年度	R3年度	R5年度
小1	116.9	116.9	116.8	116.8	116.9	117.2	115.9	115.9	115.8	115.4	115.8	116.2
小3	128.3	128.4	128.6	128.5	128.7	129.1	127.6	127.7	127.4	127.6	128.1	128.2
小5	139.5	139.2	139.2	139.2	139.8	140.3	140.3	140.1	140.5	140.5	141.3	141.8
中1	153.2	152.9	152.7	153.4	154.3	154.7	152.4	152.5	152.0	152.2	152.3	152.6
中3	165.6	165.3	165.5	165.8	166.3	166.3	156.9	156.7	156.5	156.8	156.9	156.4

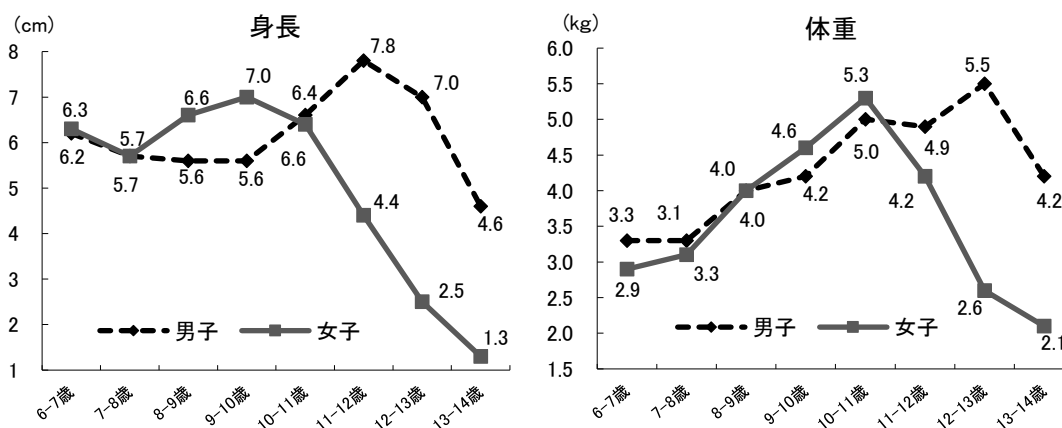
表3 年次推移 【体重の平均値】

単位 (kg)

	男子						女子					
	H13年度	H18年度	H23年度	H28年度	R3年度	R5年度	H13年度	H18年度	H23年度	H28年度	R3年度	R5年度
小1	21.9	22.0	21.7	21.8	21.9	21.8	21.4	21.2	21.0	20.9	21.3	21.4
小3	28.1	27.9	27.6	27.5	28.5	28.4	27.2	27.0	26.7	26.9	27.4	27.4
小5	36.0	35.8	34.4	34.6	36.2	36.6	35.6	34.9	34.5	34.7	35.7	36.0
中1	46.3	45.9	45.0	45.2	46.6	46.5	45.6	45.3	44.1	44.9	45.0	45.5
中3	57.5	55.9	55.7	54.6	56.0	56.2	51.4	51.0	50.2	50.6	50.9	50.2

平成13年度から5年ごとの数値および最新の数値である。身長・体重ともに、これまでと大きな差はない。

図2 年齢間の差（1年間の身長・体重の伸び）



男子の身長が最も伸びた時期は11～12歳であり、体重が最も増えた時期は、12～13歳であった。女子については、身長が最も伸びた時期が9～10歳であり、体重が最も増えた時期は10歳～11歳であった。

身長・体重ともに、女子の方が成長のピークが早く、性別による違いがある。

(2) 肥満度集計

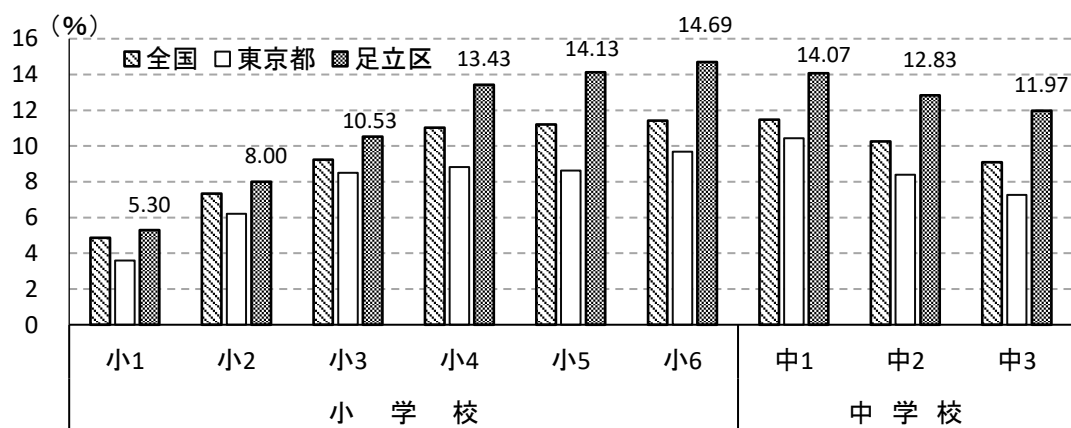
肥満度による肥満傾向の割合は、男女ともにすべての学年で全国・東京都を上回っていた。また、男子は小学6年生、女子は中学1年生がピークであった。女子は痩身傾向の割合が、全国・東京都よりも下回っている学年が多かった。

表4 肥満度 【男女合計】

単位 上段(人) / 下段(%)

肥満度 (%)		小1 4,605	小2 4,864	小3 4,949	小4 4,930	小5 5,089	小6 5,160	小学校 合計(人) 29,597	中1 4,308	中2 4,381	中3 4,444	中学校 合計(人) 13,133
肥満傾向	再)20以上 合計	244	389	521	662	719	758	3,293	606	562	532	1,700
		5.30	8.00	10.53	13.43	14.13	14.69	11.13	14.07	12.83	11.97	12.94
	50以上	13	31	50	59	75	98	326	58	96	87	241
		0.28	0.64	1.01	1.20	1.47	1.90	1.10	1.35	2.19	1.96	1.84
	30～49	84	135	203	265	300	306	1,293	238	206	206	650
		1.82	2.78	4.10	5.38	5.90	5.93	4.37	5.52	4.70	4.64	4.95
	20～29	147	223	268	338	344	354	1,674	310	260	239	809
		3.19	4.58	5.42	6.86	6.76	6.86	5.66	7.20	5.93	5.38	6.16
普通	-19～19	4,343	4,457	4,380	4,191	4,257	4,259	25,887	3,543	3,679	3,778	11,000
		94.31	91.63	88.50	85.01	83.65	82.54	87.46	82.24	83.98	85.01	83.76
痩身傾向	-29～- 20	18	18	47	77	110	137	407	150	139	130	419
		0.39	0.37	0.95	1.56	2.16	2.66	1.38	3.48	3.17	2.93	3.19
	-49～- 30	0	0	1	0	3	6	10	9	1	4	14
		0.00	0.00	0.02	0.00	0.06	0.12	0.03	0.21	0.02	0.09	0.11

図3 肥満傾向児（20%以上）出現率 【男女合計】



肥満度 (%) = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100

肥満傾向児とは、肥満度が20%以上の者

痩身傾向児とは、肥満度が-20%以下の者

普通児とは、肥満度が-20%超～20%未満の者

全国・東京都：学校統計調査（無作為抽出）

足立区：身長・体重・肥満度報告より作成

表5 肥満度 【男子】

単位 上段(人) / 下段(%)

肥満度 (%)		小1 2,305	小2 2,480	小3 2,502	小4 2,558	小5 2,571	小6 2,604	小学校 合計(人) 15,020	中1 2,182	中2 2,264	中3 2,338	中学校 合計(人) 6,784
肥満傾向	再)20以上 合計	125	213	298	400	438	462	1,936	334	336	337	1,007
		5.42	8.59	11.91	15.64	17.04	17.74	12.89	15.31	14.84	14.41	14.84
	50以上	10	22	33	42	52	59	218	36	67	57	160
		0.43	0.89	1.32	1.64	2.02	2.27	1.45	1.65	2.96	2.44	2.36
	30～49	43	73	117	168	182	192	775	135	136	130	401
		1.87	2.94	4.68	6.57	7.08	7.37	5.16	6.19	6.01	5.56	5.91
	20～29	72	118	148	190	204	211	943	163	133	150	446
		3.12	4.76	5.92	7.43	7.93	8.10	6.28	7.47	5.87	6.42	6.57
普通	-19～19	2,171	2,259	2,178	2,119	2,073	2,062	12,862	1,760	1,863	1,933	5,556
		94.19	91.09	87.05	82.84	80.63	79.19	85.63	80.66	82.29	82.68	81.90
痩身傾向	-29～- 20	9	8	25	39	58	77	216	84	65	67	216
		0.39	0.32	1.00	1.52	2.26	2.96	1.44	3.85	2.87	2.87	3.18
	-49～- 30	0	0	1	0	2	3	6	4	0	1	5
		0.00	0.00	0.04	0.00	0.08	0.12	0.04	0.18	0.00	0.04	0.07

図4 肥満傾向児（20%以上）出現率 【男子】

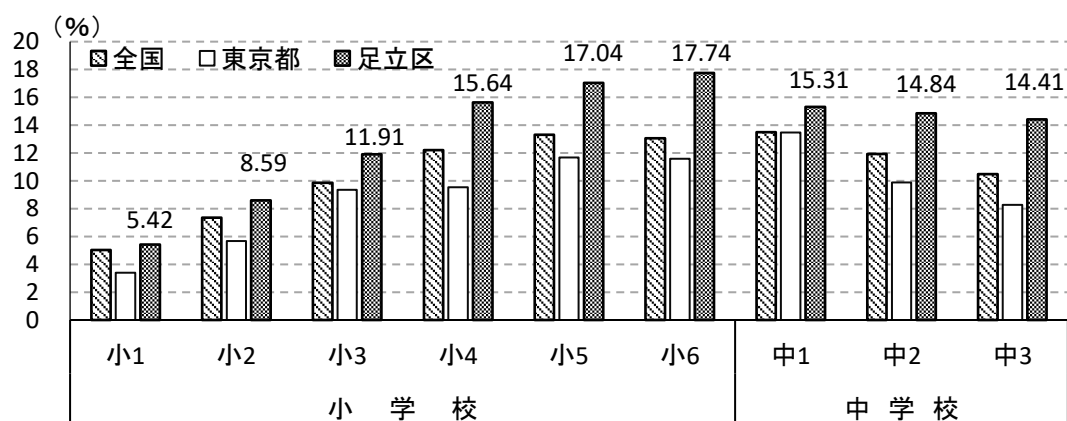


図5 痩身傾向児（-20%以下）出現率 【男子】

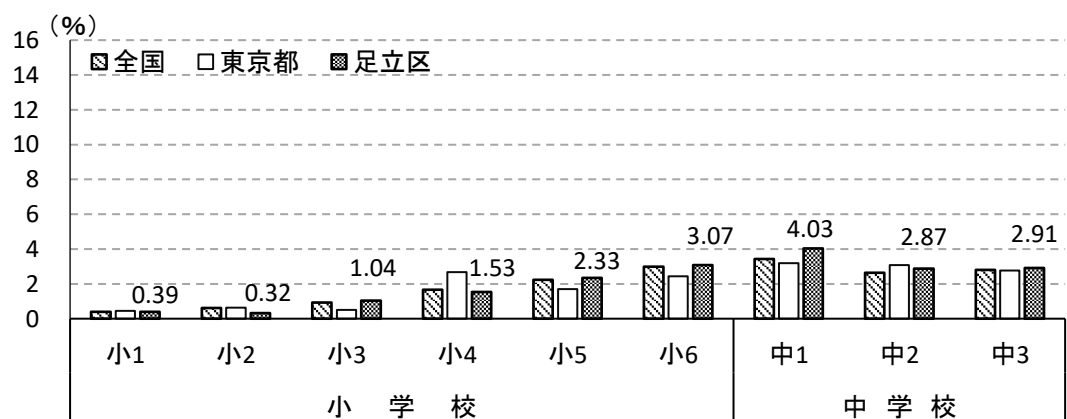


表6 肥満度 【女子】

単位 上段(人) / 下段(%)

肥満度 (%)		小1 2,300	小2 2,384	小3 2,447	小4 2,372	小5 2,518	小6 2,556	小学校 合計(人) 14,577	中1 2,126	中2 2,117	中3 2,106	中学校 合計(人) 6,349
肥満傾向	再)20以上 合計	119	176	223	262	281	296	1,357	272	226	195	693
		5.17	7.38	9.11	11.05	11.16	11.58	9.31	12.79	10.68	9.26	10.92
	50以上	3	9	17	17	23	39	108	22	29	30	81
		0.13	0.38	0.69	0.72	0.91	1.53	0.74	1.03	1.37	1.42	1.28
	30～49	41	62	86	97	118	114	518	103	70	76	249
		1.78	2.60	3.51	4.09	4.69	4.46	3.55	4.84	3.31	3.61	3.92
	20～29	75	105	120	148	140	143	731	147	127	89	363
		3.26	4.40	4.90	6.24	5.56	5.59	5.01	6.91	6.00	4.23	5.72
普通	-19～19	2,172	2,198	2,202	2,072	2,184	2,197	13,025	1,783	1,816	1,845	5,444
		94.43	92.20	89.99	87.35	86.74	85.95	89.35	83.87	85.78	87.61	85.75
痩身傾向	-29～- 20	9	10	22	38	52	60	191	66	74	63	203
		0.39	0.42	0.90	1.60	2.07	2.35	1.31	3.10	3.50	2.99	3.20
	-49～- 30	0	0	0	0	1	3	4	5	1	3	9
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	0.12	0.03	0.24	0.05	0.14	0.14

図6 肥満傾向児（20%以上）出現率 【女子】

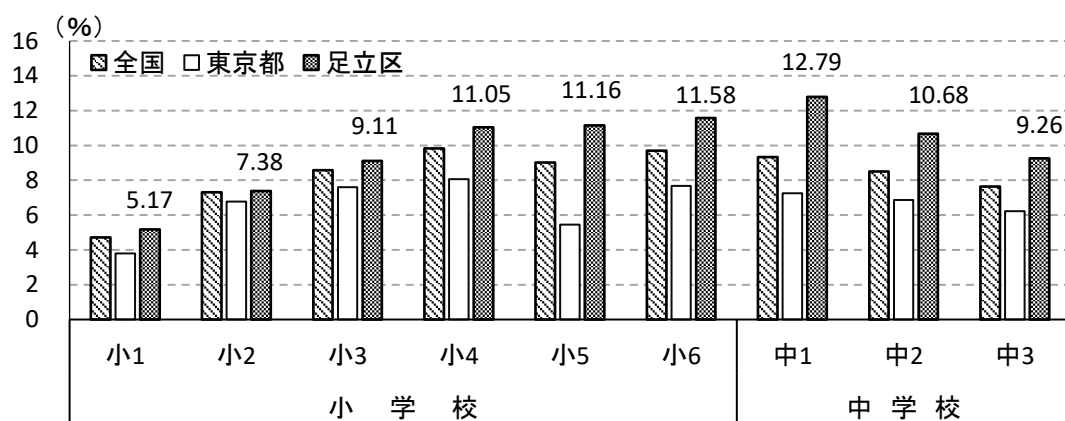


図7 痩身傾向児（-20%以下）出現率 【女子】

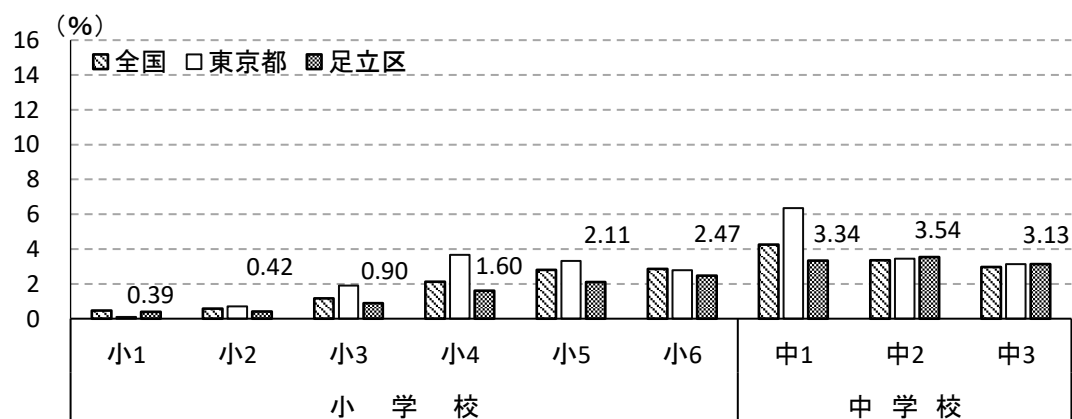
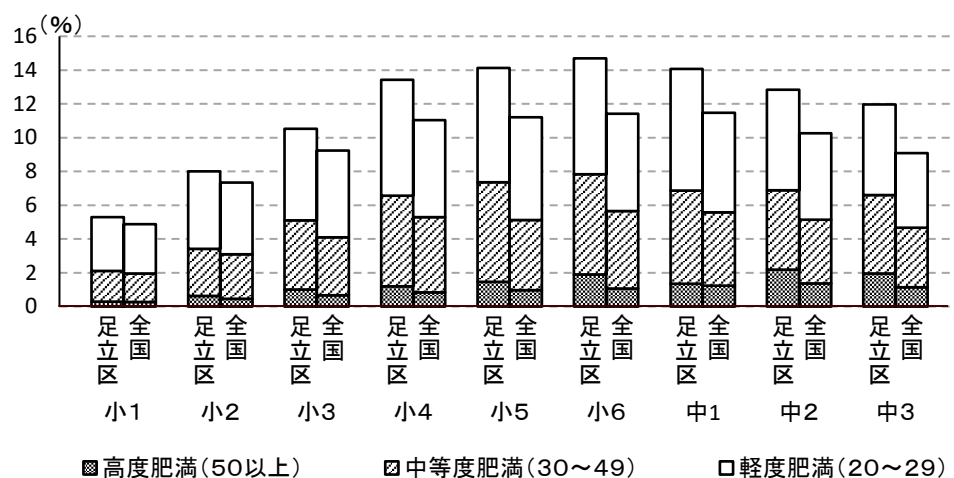


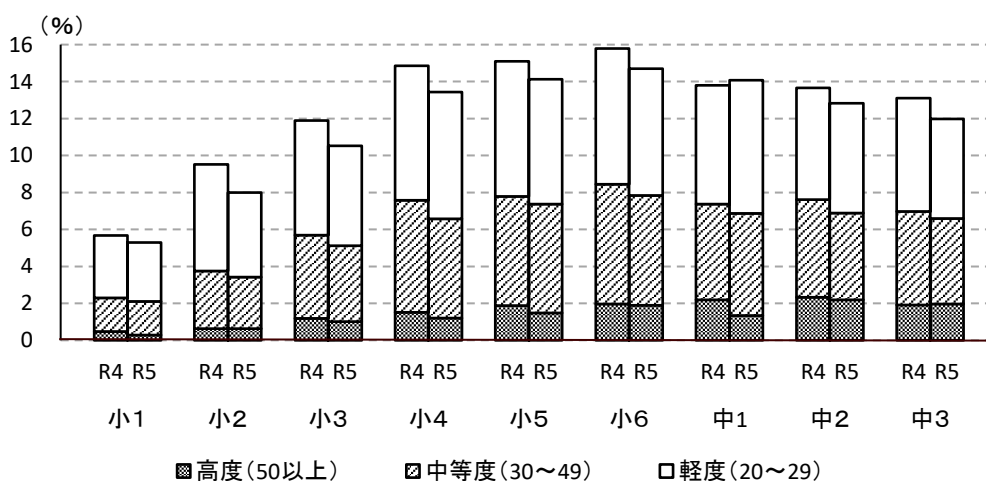
表7・図8 肥満度 【男女合計】 重度・中等度・軽度内訳 全国比較

		高度肥満(50以上)		中等度肥満(30～49)		軽度肥満(20～29)	
		足立区	全国	足立区	全国	足立区	全国
小学生	小1	0.28	0.28	1.82	1.67	3.19	2.92
	小2	0.64	0.46	2.78	2.63	4.58	4.25
	小3	1.01	0.67	4.10	3.43	5.42	5.14
	小4	1.20	0.84	5.38	4.45	6.86	5.74
	小5	1.47	0.97	5.90	4.16	6.76	6.08
	小6	1.90	1.06	5.93	4.60	6.86	5.75
中学生	中1	1.35	1.24	5.52	4.34	7.20	5.89
	中2	2.19	1.37	4.70	3.78	5.93	5.11
	中3	1.96	1.15	4.64	3.51	5.38	4.43



肥満度20%以上の内訳について全国と比較すると、ほとんどの学年ですべての肥満度の分類が全国を上回った。学年が上がるにつれて高度肥満の割合が増加した。

図9 肥満度 【男女合計】 令和4年度との比較



前年度との比較では、ほとんどの学年で割合が減少した。

2 貧血・小児生活習慣病予防健診

(1) 小児生活習慣病予防健診

思春期、成長期における小児生活習慣病の予防および早期発見を目的として実施している。

検査内容：肥満度、血圧、血清脂質〔総コレステロール、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール〕
ヘモグロビンA1c、糖尿病歴（学校申告）

対 象 者：①中学2年生

②前年度の小児生活習慣病予防健診で要医学的管理・要経過観察・

ヘモグロビンA1c 5.6%以上と判定された中学3年生

判定基準：巻末【資料1】のとおり

ア 総合判定結果

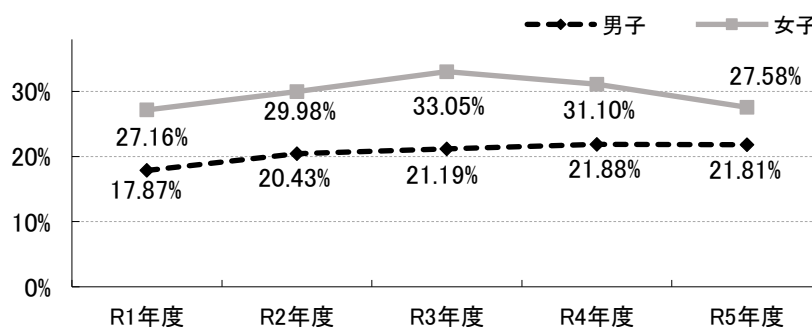
表8 小児生活習慣病予防健診 総合判定結果集計

単位 上段(人) / 下段(%)

		受診者数	要医学的管理	要経過観察	要生活指導	管理不要	正常
全受診者	男子	2,063	97 4.70	224 10.86	226 10.95	536 25.98	980 47.50
	女子	2,013	57 2.83	197 9.79	367 18.23	506 25.14	886 44.01
	計	4,076	154 3.78	421 10.33	593 14.55	1,042 25.56	1,866 45.78
中学2年	男子	1,793	56 3.12	151 8.42	184 10.26	484 26.99	918 51.20
	女子	1,773	28 1.58	142 8.01	319 17.99	446 25.16	838 47.26
	計	3,566	84 2.36	293 8.22	503 14.11	930 26.08	1,756 49.24
中学3年	男子	270	41 15.19	73 27.04	42 15.56	52 19.26	62 22.96
	女子	240	29 12.08	55 22.92	48 20.00	60 25.00	48 20.00
	計	510	70 13.73	128 25.10	90 17.65	112 21.96	110 21.57

図10 中学2年生の総合判定結果の年次推移

【要医学的管理・要経過観察・要生活指導と判定された者の割合】



総合判定の有所見者（要医学的管理・要経過観察・要生活指導と判定された者）は、男子は4.6人に1人、女子は3.6人に1人であった。

(参考) 健診の変遷

平成4年度	対象は中学1年生と前年度「Ⅱ 要経過観察」判定の中学2年生3校でモデル実施としてスタート
平成8年度	指定校を5校に拡大
平成14年度	対象を中学2年生と前年度「Ⅱ 要経過観察」判定の中学3年生へ変更 全中学校に拡大
平成28年度	前年度「Ⅰ 要医学的管理」判定の中学3年生を対象に追加
平成29年度	前年度「ヘモグロビンA1c 5.6%以上」の中学3年生を対象に追加

イ 各検査項目結果

(ア) 肥満度 (中学2年生の全体の傾向については、前章P3～P6を参照のこと)

表9 判定結果集計

単位 上段(人) / 下段(%)

肥満度指数(%)		痩せ型	標準型	肥満型		
		－20以下	－19～19	(軽度) 20～29	(中等度) 30～49	(高度) 50以上
全 受 診 者	男子	57	1,610	133	178	85
	2,063	2.76	78.04	6.45	8.63	4.12
	女子	89	1,725	87	91	20
	2,012	4.42	85.74	4.32	4.52	0.99
中 2	計	146	3,335	220	269	105
	4,075	3.58	81.84	5.40	6.60	2.58
	男子	50	1,485	95	112	51
	1,793	2.79	82.82	5.30	6.25	2.84
中 3	女子	82	1,542	76	61	11
	1,772	4.63	87.02	4.29	3.44	0.62
	計	132	3,027	171	173	62
	3,565	3.70	84.91	4.80	4.85	1.74
中 3	男子	7	125	38	66	34
	270	2.59	46.30	14.07	24.44	12.59
	女子	7	183	11	30	9
	240	2.92	76.25	4.58	12.50	3.75
中 3	計	14	308	49	96	43
	510	2.75	60.39	9.61	18.82	8.43

図11 中学2年生の肥満度分布

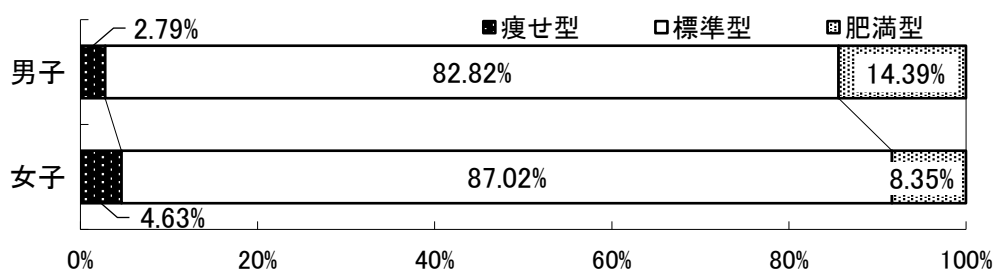
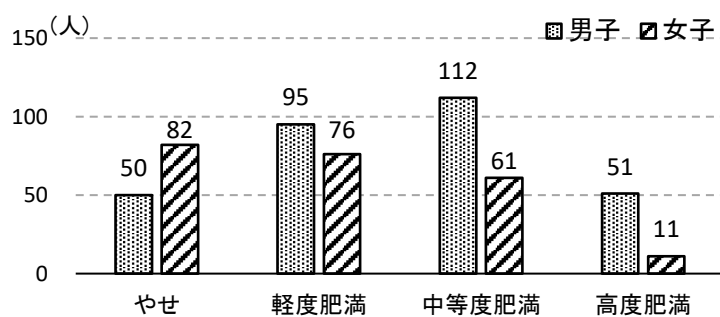
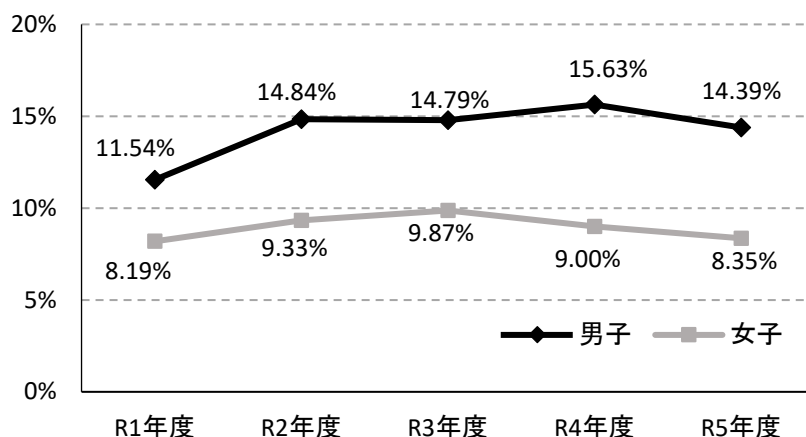


図12 中学2年生のやせ型・肥満型の人数



やせ型は女子に多く、肥満型は男子に多かった。

図 1 3 中学 2 年生の肥満度測定結果の年次推移【肥満型と判定された者の割合】

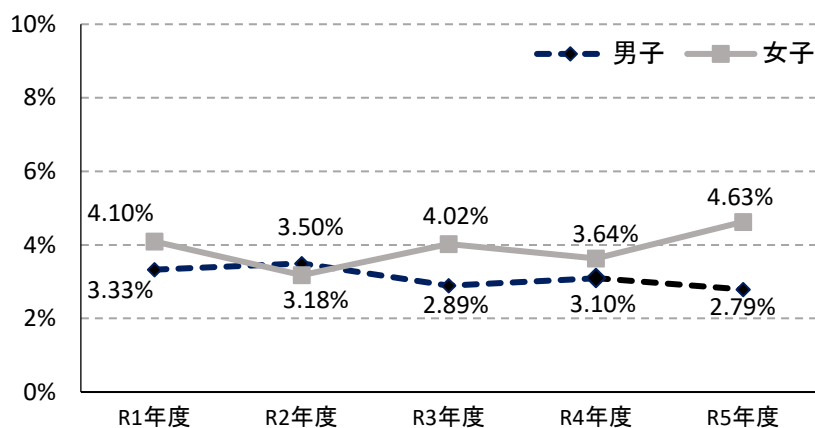


肥満型と判定された者の割合は、男女とも前年度から横ばいであった。
女子に比べ、男子の割合が高く、男子の 6.9 人に 1 人が肥満型であった。

(参考) 肥満傾向児年次推移【全国】 文部科学省学校保健統計報告より 単位 (%)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
男子	9.63	12.18	10.99	12.25	11.93
女子	7.88	8.53	8.35	9.05	8.50

図 1 4 中学 2 年生の肥満度測定結果の年次推移【やせ型と判定された者の割合】



やせ型と判定された者の割合は、男女とも大きな変動は見られない。

(参考) 痩身傾向児年次推移【全国】 文部科学省学校保健統計報告より 単位 (%)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
男子	2.31	2.99	2.73	2.59	2.64
女子	3.56	3.2	3.22	3.28	3.36

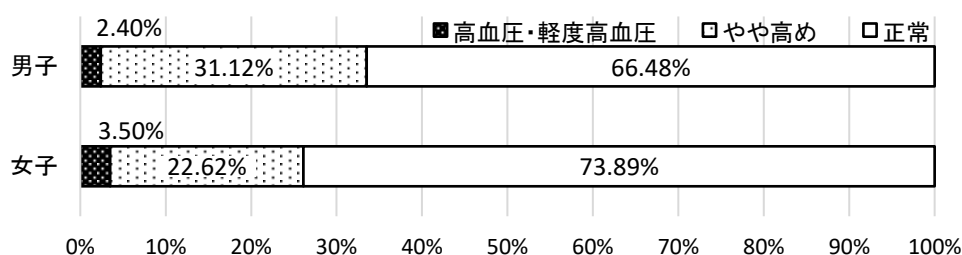
(イ) 血圧測定

表 10 判定結果集計

単位 上段(人) / 下段(%)

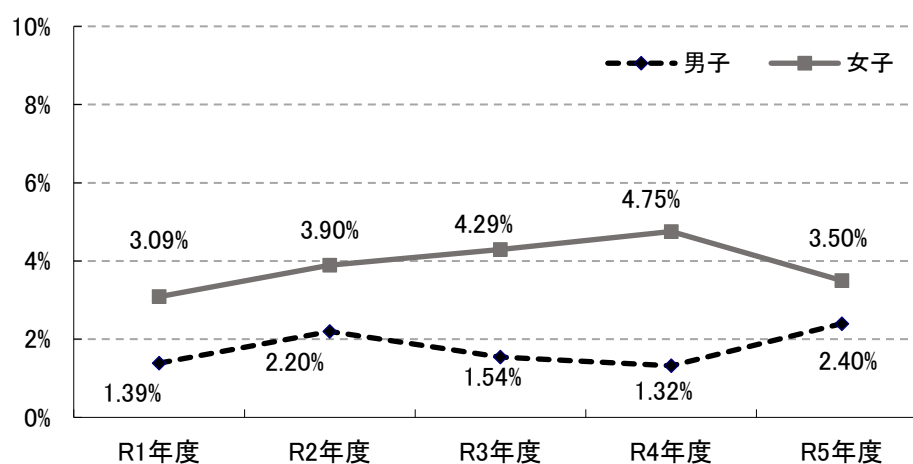
		検査人数	高血圧	軽度高血圧	やや高め	正常	血圧判定基準値	
全受診者	男子	2,063	11 0.53	53 2.57	689 33.40	1,310 63.50	高血圧	150/95mmHg以上
	女子	2,013	5 0.25	79 3.92	481 23.89	1,448 71.93	軽度高血圧	140/85mmHg以上
	計	4,076	16 0.39	132 3.24	1,170 28.70	2,758 67.66	やや高め	120/70mmHg以上
中学2年	男子	1,793	6 0.33	37 2.06	558 31.12	1,192 66.48	正常	120/70mmHg未満
	女子	1,773	4 0.23	58 3.27	401 22.62	1,310 73.89	高血圧	145/90mmHg以上
	計	3,566	10 0.28	95 2.66	959 26.89	2,502 70.16	軽度高血圧	135/80mmHg以上
中学3年	男子	270	5 1.85	16 5.93	131 48.52	118 43.70	やや高め	120/70mmHg以上
	女子	240	1 0.42	21 8.75	80 33.33	138 57.50	正常	120/70mmHg未満
	計	510	6 1.18	37 7.25	211 41.37	256 50.20		

図 15 中学2年生の血圧測定判定結果



血圧がやや高め以上の割合は、男子は3.0人に1人、女子は3.8人に1人であった。

図 16 中学2年生の血圧判定結果の年次推移
【高血圧・軽度高血圧と判定された者の割合】



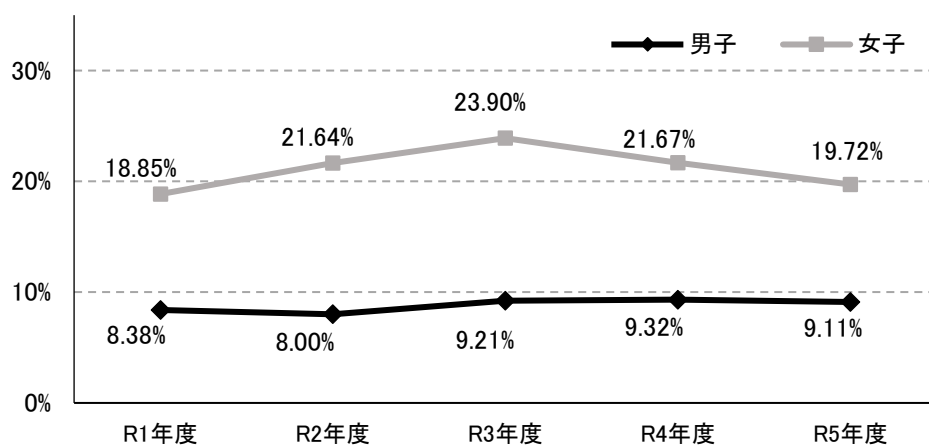
(ウ) 血清脂質検査

表 1 1 判定結果集計

単位 上段(人) / 下段(%)

		検査人数	かなりの異常	異常	異常傾向	やや異常傾向	正常
全受診者	男子	2,060	5 0.24	40 1.94	170 8.25	231 11.21	1,614 78.35
	女子	2,010	29 1.44	61 3.03	346 17.21	289 14.38	1,285 63.93
	計	4,070	34 0.84	101 2.48	516 12.68	520 12.78	2,899 71.23
中2	男子	1,790	2 0.11	28 1.56	133 7.43	176 9.83	1,451 81.06
	女子	1,770	12 0.68	44 2.49	293 16.55	247 13.95	1,174 66.33
	計	3,560	14 0.39	72 2.02	426 11.97	423 11.88	2,625 73.74
中3	男子	270	3 1.11	12 4.44	37 13.70	55 20.37	163 60.37
	女子	240	17 7.08	17 7.08	53 22.08	42 17.50	111 46.25
	計	510	20 3.92	29 5.69	90 17.65	97 19.02	274 53.73

図 1 7 中学2年生の血清脂質検査判定結果の年次推移
【かなりの異常・異常・異常傾向と判定された者の割合】



血清脂質の有所見者（かなりの異常・異常・異常傾向と判定された者）の割合は、女子は男子に比べて2倍以上高く、5.1人に1人であった。前年度と比較すると、男子は横ばいであり、女子は減少した。

(エ) ヘモグロビンA1c検査

ヘモグロビンA1c検査は、過去1～2ヶ月間の平均的血糖値を反映する検査である。

表12 判定結果集計

単位 上段(人) / 下段(%)

		検査人数	a 高値 6.5%以上	b 高値 6.0～6.4%	d 正常高値 5.6～5.9%	n 正常範囲 5.5%以下
全受診者	男子	2,060	2 0.10	7 0.34	304 14.76	1,747 84.81
	女子	2,010	2 0.10	4 0.20	227 11.29	1,777 88.41
	計	4,070	4 0.10	11 0.27	531 13.05	3,524 86.58
中学2年	男子	1,790	1 0.06	4 0.22	225 12.57	1,560 87.15
	女子	1,770	0 0.00	3 0.17	170 9.60	1,597 90.23
	計	3,560	1 0.03	7 0.20	395 11.10	3,157 88.68
中学3年	男子	270	1 0.37	3 1.11	79 29.26	187 69.26
	女子	240	2 0.83	1 0.42	57 23.75	180 75.00
	計	510	3 0.59	4 0.78	136 26.67	367 71.96

表13 ヘモグロビンA1c検査判定基準

図18 中学2年生のヘモグロビンA1c検査結果

高値	a	6.5%以上	専門医療機関で精密検査をお勧めします。
	b	6.0～6.4%	医療機関（かかりつけ医、学校医）で再検査（空腹時血糖・ヘモグロビンA1c検査）をお勧めします。
正常範囲	d	5.6～5.9%	正常高値です（2年生は来年度、学校で再検査）。
	n	5.5%以下	正常範囲内です。

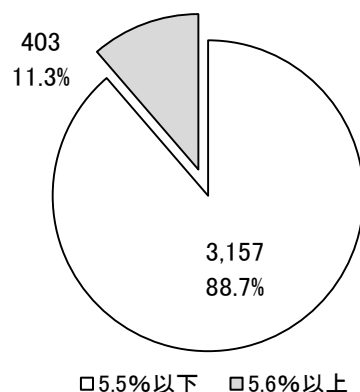


表14 中学2年生 小児生活習慣病有所見者*とヘモグロビンA1c検査結果との関係

小児生活習慣病予防健診有所見者※	880人	24.68%
ヘモグロビンA1c 正常高値以上（5.6%以上）	403人	11.32%
小児生活習慣病予防健診有所見者※とヘモグロビンA1c 5.6%以上の重複者	188人	5.28%

※ 生活習慣病予防健診有所見者…Ⅰ 要医学的管理、Ⅱ 要経過観察、Ⅲ 要生活指導 判定の者

ヘモグロビンA1c検査で正常高値以上の割合は、8.8人に1人であり、前年度より増加した。

(2) 貧血検査

思春期、成長期における貧血の予防および早期発見を目的として実施している。

検査内容：白血球数(WBC)、赤血球数(RBC)、血色素量(Hgb)、赤血球容積比(Hct)等

対象者：①中学2年生

②前年度の小児生活習慣病予防健診で要医学的管理・要経過観察・
ヘモグロビンA1c 5.6%以上と判定された中学3年生

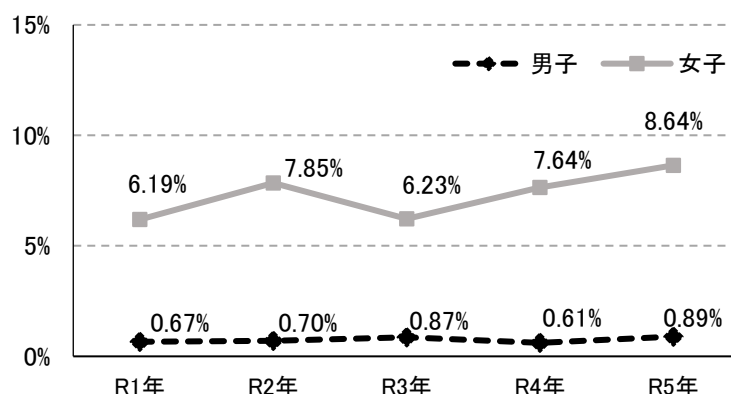
判定基準：巻末【資料1】のとおり

表15 貧血検査 判定結果集計 単位 上段(人) / 下段(%)

		受診者数	要受診	要再検	正常
全受診者	男子	2,060	19 0.92	22 1.07	2,019 98.01
	女子	2,010	174 8.66	11 0.55	1,825 90.80
	計	4,070	193 4.74	33 0.81	3,844 94.45
中2	男子	1,790	16 0.89	16 0.89	1,758 98.21
	女子	1,770	153 8.64	9 0.51	1,608 90.85
	計	3,560	169 4.75	25 0.70	3,366 94.55
中3	男子	270	3 1.11	6 2.22	261 96.67
	女子	240	21 8.75	2 0.83	217 90.42
	計	510	24 4.71	8 1.57	478 93.73

※ 要再検者は血色素量高値または赤血球・平均赤血球容積(MCV)値異常の者

図19 中学2年生の貧血検査判定結果の年次推移
【有所見者の割合】



貧血検査の有所見者（要受診と判定された者）は、女子が男子に比べ約9倍多く、女子は11.6人に1人であった。割合は、男子は横ばいであり、女子は増加した。

3 定期健康診断疾病異常調査

学校保健安全法に基づく定期健康診断の結果から、小・中学校児童生徒の健康実態を把握することを目的として実施している。概要は、巻末【資料2】のとおり。

(1) 定期健康診断の受診状況

受診率は、小学生は98.9%、中学生は94.6%であった。

表16 定期健康診断の受診率学年別受診状況

	単位(人)			単位(人)			単位(%)		
	在籍者数			受診者数			受診率		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
小1	2,307	2,303	4,610	2,282	2,284	4,566	98.92	99.17	99.05
小2	2,494	2,384	4,878	2,467	2,376	4,843	98.92	99.66	99.28
小3	2,513	2,451	4,964	2,490	2,426	4,916	99.08	98.98	99.03
小4	2,575	2,381	4,956	2,550	2,361	4,911	99.03	99.16	99.09
小5	2,590	2,531	5,121	2,551	2,508	5,059	98.49	99.09	98.79
小6	2,627	2,571	5,198	2,575	2,515	5,090	98.02	97.82	97.92
小学校計	15,106	14,621	29,727	14,915	14,470	29,385	98.74	98.97	98.85
中1	2,218	2,155	4,373	2,144	2,094	4,238	96.66	97.17	96.91
中2	2,350	2,193	4,543	2,209	2,054	4,263	94.00	93.66	93.84
中3	2,427	2,212	4,639	2,271	2,052	4,323	93.57	92.77	93.19
中学校計	6,995	6,560	13,555	6,624	6,200	12,824	94.70	94.51	94.61
小中合計	22,101	21,181	43,282	21,539	20,670	42,209	97.46	97.59	97.52

(2) 四肢異常

表17 四肢異常の割合

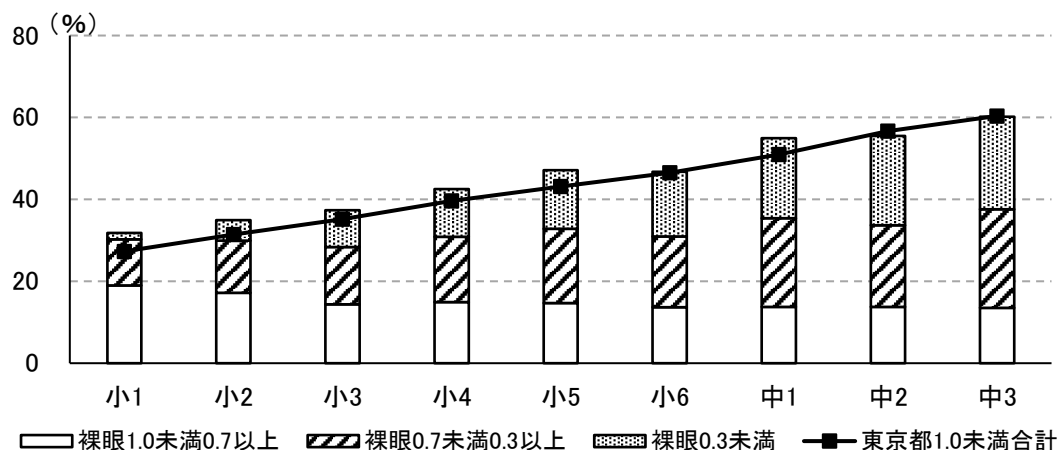
単位(%)				単位(%)			
	男子	足立区	東京都		女子	足立区	東京都
小学生	小1	0.57	0.13	小学生	小1	0.22	0.09
	小2	0.04	0.14		小2	0.21	0.08
	小3	0.20	0.16		小3	0.49	0.12
	小4	0.16	0.18		小4	0.08	0.11
	小5	0.12	0.20		小5	0.16	0.19
	小6	0.08	0.24		小6	0.24	0.18
中学生	中1	0.37	0.39	中学生	中1	0.38	0.27
	中2	0.36	0.40		中2	0.63	0.31
	中3	1.14	0.36		中3	0.54	0.29

東京都との比較では、男女ともに学年によりばらつきがあった。

(3) 視力検査 (裸眼視力 1.0 未満の児童生徒の割合)

男女とも、学年が上がるにつれ、裸眼視力 0.3 未満の割合が増えていた。また、すべての学年において、男子よりも女子の方が裸眼視力 1.0 未満の割合が高かった。

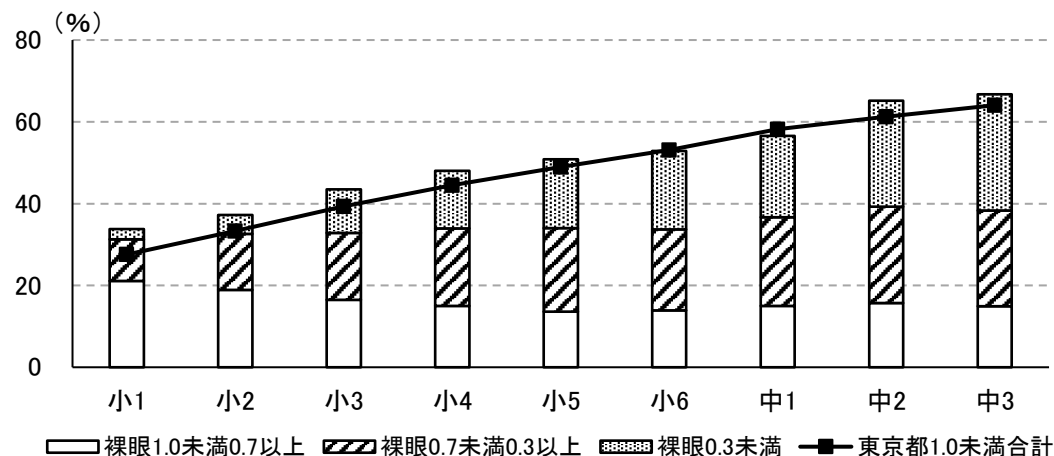
図 20・表 18 裸眼視力 1.0 未満の割合 学年別及び、東京都比較 【男子】



単位 (%)

		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
男子	足立区	31.79	34.90	37.33	42.55	47.09	46.71	54.95	55.49	60.17
	東京都	27.30	31.45	35.18	39.60	43.12	46.48	50.95	56.63	60.37

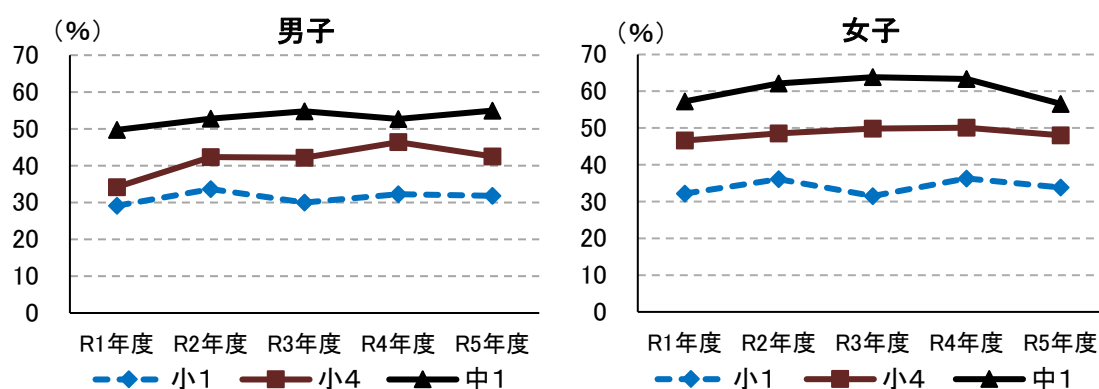
図 21・表 19 裸眼視力 1.0 未満の割合 学年別及び、東京都比較 【女子】



単位 (%)

		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
女子	足立区	33.82	37.27	43.46	48.02	50.82	52.87	56.59	65.13	66.72
	東京都	27.57	33.35	39.35	44.54	48.93	53.10	58.21	61.28	64.07

図 2 2 ・ 表 2 0 裸眼視力 1. 0 未満割合の年次推移



単位 (%)

	男 子					女 子				
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
小 1	29.13	33.65	29.98	32.24	31.79	32.16	36.09	31.51	36.30	33.82
小 4	34.20	42.30	42.18	46.38	42.55	46.61	48.51	49.89	50.09	48.02
中 1	49.71	52.80	54.80	52.65	54.95	57.21	62.15	63.83	63.38	56.59

(4) 聴力検査

聴力検査による難聴者の割合は、全体で0.63%程度であり、前年度と比べると横ばいであった。

表 2 1 難聴者*数の年次推移

単位 上段(人) / 下段(%)

	男 子					女 子				
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
小 1	28 1.08	32 1.25	11 0.44	15 0.61	18 0.78	23 0.91	37 1.56	15 0.61	21 0.89	18 0.78
小 2	8 0.30	34 1.31	15 0.59	9 0.36	20 0.81	22 0.86	27 1.07	15 0.63	13 0.53	13 0.55
小 3	13 0.50	13 0.50	9 0.35	13 0.51	12 0.48	7 0.27	26 1.01	15 0.59	19 0.80	11 0.45
小 5	7 0.25	11 0.40	10 0.38	11 0.42	11 0.43	11 0.43	22 0.86	7 0.27	13 0.51	12 0.48
中 1	11 0.48	15 0.63	7 0.29	4 0.17	16 0.73	8 0.37	14 0.66	20 0.92	18 0.84	17 0.80
中 3	13 0.60	8 0.39	8 0.35	12 0.51	13 0.56	19 0.87	8 0.40	5 0.23	11 0.53	16 0.75

※ 難聴者とは、オーディオメータを使用して検査した場合、両耳とも1,000ヘルツにおいて30デシベル、または、4,000ヘルツにおいて25デシベル相当の音が聴取できない者。

※ 聴力検査は、小学1～3年生と5年生、中学1年生と3年生で実施している。

(5) アレルギー性疾患

各疾患については、ここ1年以内にその疾患と判定された者、または医療機関で経過観察中の者を、学校医の判定に加え保健調査や日常の健康観察により、把握している。

ア アレルギー性眼疾患

アレルギー性眼疾患の被患率は、男子は小学5年生が最も高く、女子は小学6年生が最も高かった。東京都との比較では、すべての学年で東京都平均を下回っていた。

表22・図23 学年別割合および東京都比較 【男子】

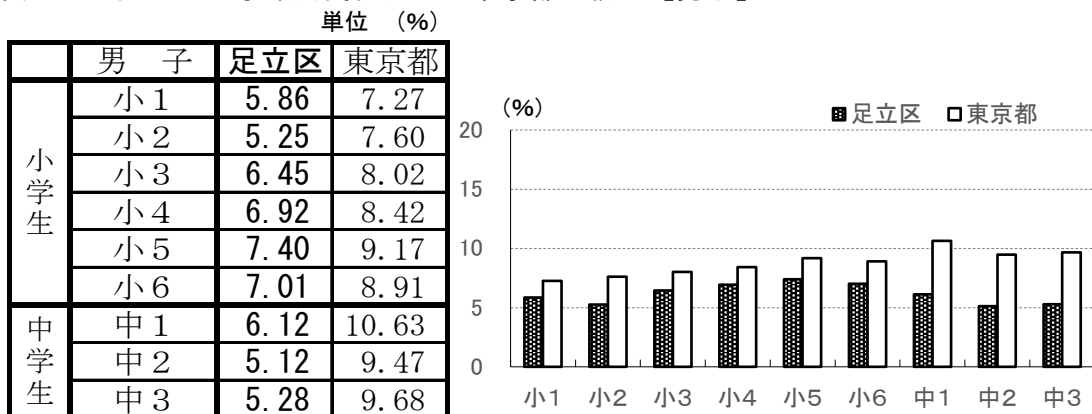


表23・図24 学年別割合および東京都比較 【女子】

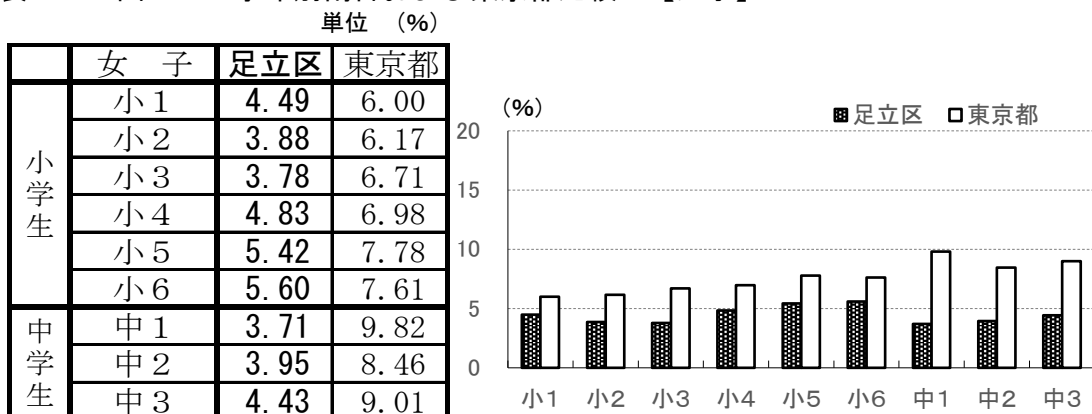


表24 年次推移

単位 受診数・被患数(人)/被患率(%)

	R1年度		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度	
	受診数	被患数 被患率	受診数	被患数 被患率	受診数	被患数 被患率	受診数	被患数 被患率	受診数	被患数 被患率
小学生	31,100	2,073 6.67	30,359	1,385 4.56	30,160	1,426 4.73	29,686	1,306 4.40	29,074	1,629 5.60
中学生	12,636	537 4.25	12,444	523 4.20	13,007	498 3.83	12,844	848 6.60	12,532	600 4.79

被患率は前年度に比べ小学生は増加、中学生は減少した。

イ アレルギー性鼻疾患

アレルギー性鼻疾患の被患率は、男子は小学5年生が最も高く、女子は中学3年生が最も高かった。また、すべての学年で女子よりも男子の割合が高かった。東京都との比較では、すべての学年で東京都平均を下回っていた。

表25・図25 学年別割合および東京都比較 【男子】

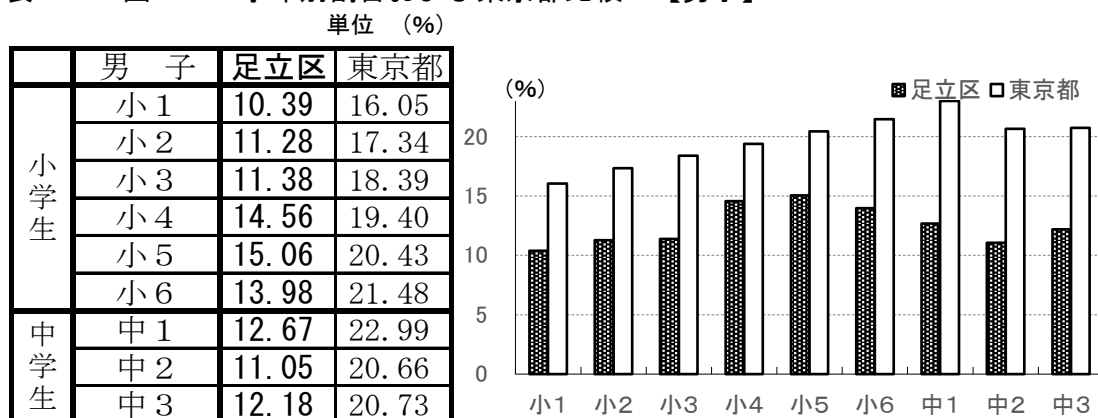


表26・図26 学年別割合および東京都比較 【女子】

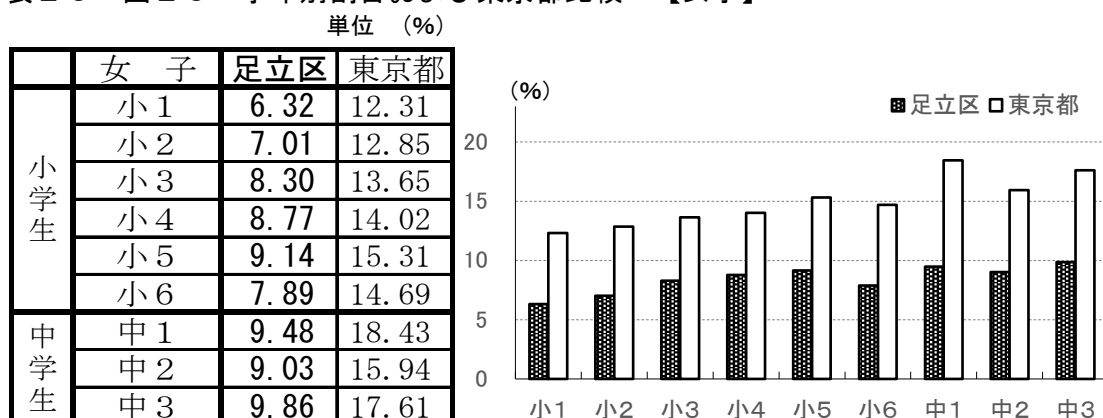


表27 年次推移

単位 受診数・被患数(人)/被患率(%)

	R1年度		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度	
	受診数	被患数 被患率	受診数	被患数 被患率	受診数	被患数 被患率	受診数	被患数 被患率	受診数	被患数 被患率
小学生	31,102	3,180 10.22	30,347	2,638 8.69	30,402	2,825 9.29	29,745	2,858 9.61	29,217	3,042 10.41
中学生	12,627	1,032 8.17	12,394	930 7.50	12,913	1,042 8.07	12,804	1,415 11.05	12,490	1,344 10.76

被患率は前年度に比べ小学生と中学生ともに横ばいであった。

ウ アレルギー性皮膚疾患

アレルギー性皮膚疾患の被患率は、女子よりも男子の割合が高い学年が多かった。東京都との比較では、男女ともすべての学年で、東京都平均を下回った。

表 28・図 27 学年別割合および東京都比較 【男子】

単位 (%)

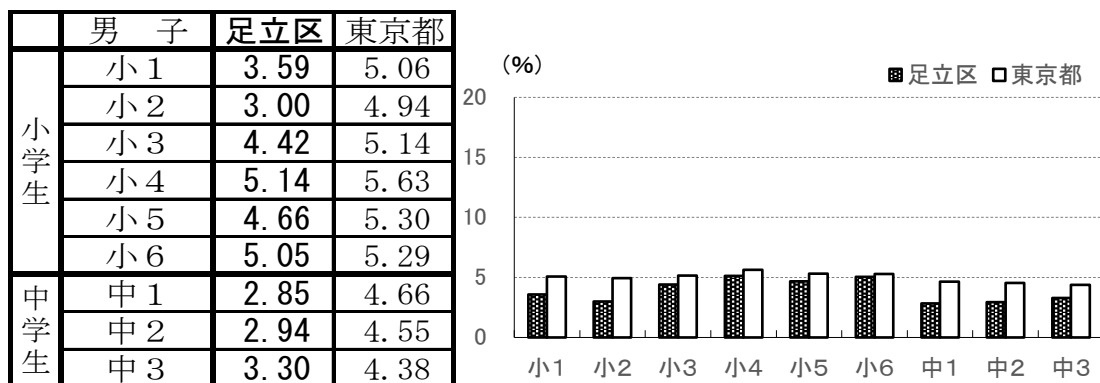


表 29・図 28 学年別割合および東京都比較 【女子】

単位 (%)

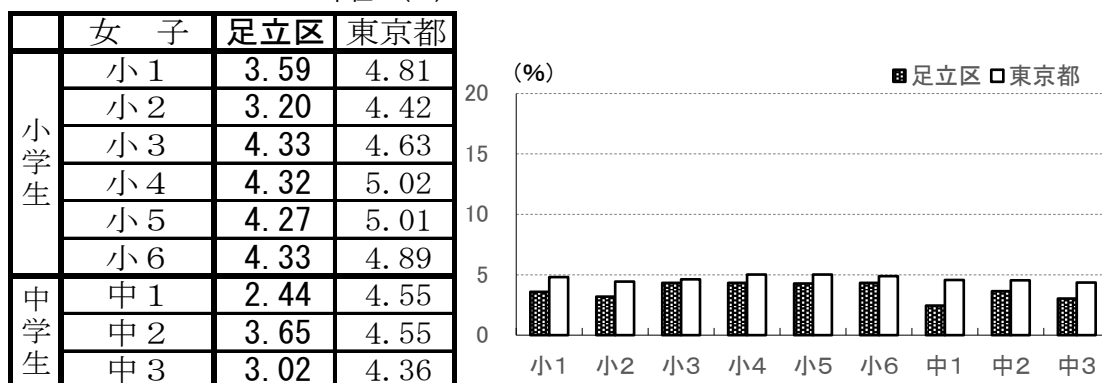


表 30 年次推移

単位 受診数・被患数(人)/被患率(%)

	R1年度		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度	
	受診数	被患数 被患率	受診数	被患数 被患率	受診数	被患数 被患率	受診数	被患数 被患率	受診数	被患数 被患率
小学生	31,258	1,077 3.45	30,777	1,107 3.60	30,495	1,057 3.47	29,935	1,010 3.37	29,385	1,227 4.18
中学生	12,674	205 1.62	12,760	317 2.48	13,147	317 2.41	13,012	476 3.66	12,824	389 3.03

被患率は前年度に比べ小学生と中学生ともに横ばいであった。

エ 気管支喘息

気管支喘息の被患率は、すべての学年で女子よりも男子の割合が高かった。東京都との比較では、男女ともほとんどの学年が、東京都平均と同様であった。

表 3 1 ・ 図 2 9 学年別割合および東京都比較 【男子】

単位 (%)

	男 子	足立区	東京都
小学生	小 1	4.16	4.14
	小 2	3.32	3.38
	小 3	3.25	3.26
	小 4	3.53	3.15
	小 5	3.14	3.15
	小 6	3.38	3.25
中学生	中 1	3.08	2.91
	中 2	2.72	2.92
	中 3	2.95	2.93

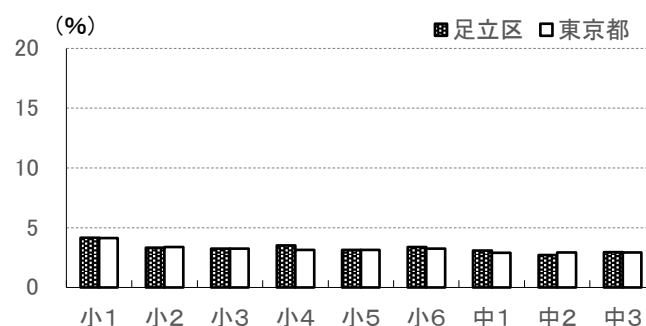


表 3 2 ・ 図 3 0 学年別割合および東京都比較 【女子】

単位 (%)

	女 子	足立区	東京都
小学生	小 1	2.76	2.84
	小 2	2.65	2.47
	小 3	2.02	2.37
	小 4	2.50	2.30
	小 5	2.15	2.31
	小 6	2.62	2.13
中学生	中 1	2.48	2.07
	中 2	1.85	1.90
	中 3	2.39	2.10

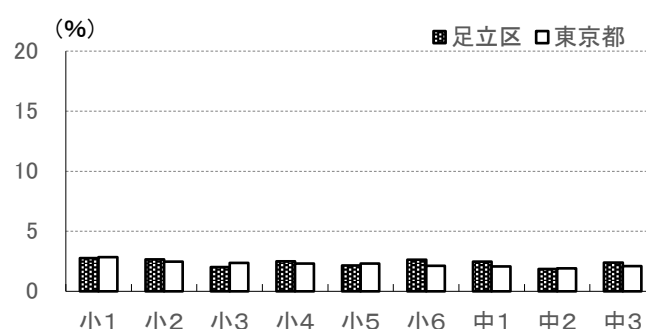


表 3 3 年次推移

単位 受診数・被患数 (人) / 被患率 (%)

	R1年度		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度	
	受診数	被患数 被患率	受診数	被患数 被患率	受診数	被患数 被患率	受診数	被患数 被患率	受診数	被患数 被患率
小学生	31,258	1,190 3.81	30,777	1,084 3.52	30,495	976 3.20	29,935	777 2.60	29,385	869 2.96
中学生	12,674	345 2.72	12,760	379 2.97	13,147	415 3.16	13,012	438 3.37	12,824	332 2.59

小学生の被患率は、前年度に比べ横ばいであり、中学生の被患率はやや減少した。

(6) 結核検診

小中学校児童・生徒の結核予防対策として実施している。
精密検査対象者は、2名だったが、結核被患者は発見されなかった。

表 3 4 結核検診結果

単位 上段(人) / 下段(%)

		在籍数	問診調査		学校医による診察		教育委員会での検診が必要とされた人数	精密検査対象者数	
			実施者数	要検討者数	実施者数	要検討者数		教育委員会検討対象となった割合(%)	精密検査対象となった割合(%)
足立区	小学生	29,729	29,693	101 0.34	29,357	13 0.04	105 0.35	1 0.00	0.01
	中学生	13,550	13,451	39 0.29	12,772	0 0.00	38 0.28	1 0.00	0.03
	合計	43,279	43,144	140 0.32	42,129	13 0.03	143 0.33	2 0.00	1.40

表 3 5 結核検診精密検査結果

単位 上段(人) / 下段(%)

		精密検査受検者数							精密検査結果				
		精密検査対象者数	精密検査受検者数	内 訳					要医療		経過観察	異常なし	精密検査受検者数から異常なしとなった割合(%)
				ツベルクリ反応検査のみ	ツベルクリ反応検査・X線撮影	X線撮影	QFT検査	(診察のみ等)	要医療	予防内服(再掲)			
足立区	小学生	1	1 100.00	0	0	1	0	0	0	0	0	1	100.00
	中学生	1	1 100.00	0	0	1	0	0	0	0	0	1	100.00
	合計	2	2 100.00	0	0	2	0	0	0	0	0	2	100.00

(7) 心臓疾患検診

小中学校児童・生徒の心臓病疾患の早期発見と適切な健康管理を図るため、下表の検査を実施している。

表 3 6 検査内容

アンケート調査		第1次検査		第2次検査	
内容	対象	内容	対象	内容	対象
アンケートによる異常者抽出	児童・生徒全員 ※ ただし、小・中学1年生は参考用として用いる。	2点心音図 4誘導心電図	小・中学1年生全員 およびアンケートなどによる抽出者	標準12誘導心電図 専門医による問診聴打診 その他の必要な検査 負荷心電図 心エコー検査 4点心音図 など	第1次検査有所見者 および経過観察者

表 3 7 検査結果 【小学生】

単位 上段(人) / 下段(%)

項目 区分	受診者数	有所見者数	有 所 見 者 内 訳				要2次検査 対象者数
			先天性心疾患	後天性心疾患	その他の心疾患	心電図異常	
小 1	4,581	58 1.27	41 0.90	0 0.00	2 0.04	15 0.33	125 2.73
他学年 抽出者	279	26 9.32	12 4.30	0 0.00	1 0.36	13 4.66	15 5.38
合 計	4,860	84 1.73	53 1.09	0 0.00	3 0.06	28 0.58	140 2.88

表 3 8 検査結果 【中学生】

単位 上段(人) / 下段(%)

項目 区分	受診者数	有所見者数	有 所 見 者 内 訳				要2次検査 対象者数
			先天性心疾患	後天性心疾患	その他の心疾患	心電図異常	
中 1	4,253	66 1.55	25 0.59	1 0.02	3 0.07	37 0.87	121 2.85
他学年 抽出者	168	11 6.55	6 3.57	0 0.00	0 0.00	5 2.98	19 11.31
合 計	4,421	77 1.74	31 0.70	1 0.02	3 0.07	42 0.95	140 3.17

有所見者では、小学生・中学生ともに、先天性心疾患および心電図異常が多く見られた。

表 3 9 心疾患別診断結果 【小学生】

単位(人)

項目 区分	先天性心疾患										後天性心疾患	心電図異常													心 の 疾 患 の 計	合 計
	VSD	ASD	PDA	POS	TOF	AVSD	TGA	MR	その他	小計		右脚ブロック		期外収縮		房室ブロック			肥大		WPW	その他	小計			
												完全	不完全	心室性	上室性	1度	2度	完全	左室	右室						
小1	12	11	0	5	1	1	0	1	2	8	41	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	1	2	15	2	58
他学年 抽出者	4	1	0	0	0	1	0	0	1	5	12	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	5	2	13	1	26
合 計	16	12	0	5	1	2	0	1	3	13	53	0	0	0	17	1	0	0	0	0	0	6	4	28	3	84

表 4 0 心疾患別診断結果 【中学生】 単位(人)

項目 区分	先天性心疾患										後天性心疾患	心電図異常												心その他の疾患の計	合計	
	VSD	ASD	PDA	TOF	AVSD	TGA	MR	その他	小計	右脚ブロック		期外収縮		房室ブロック			肥 大		WPW	その他	小計					
										完 全		不完 全	心室性	上室性	1度	2度	完全	左室				右室				
中 1	7	4	2	2	1	1	0	1	0	7	25	1	0	0	21	2	2	2	0	0	0	6	4	37	3	66
他学年抽出者	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	1	5	0	11
合 計	9	8	2	2	1	1	0	1	0	7	31	1	0	0	22	2	3	2	0	0	0	8	5	42	3	77

注) 診断名について

VSD－心室中隔欠損 P S－肺動脈狭窄 AVSD－心内膜床欠損 WPW－WPW症候群
 ASD－心房中隔欠損 TOF－ファロー四徴 TGA－大血管転位
 PDA－動脈管開存 A S－大動脈弁狭窄 MR－僧帽弁閉鎖不全症

小学生・中学生ともに、先天性心疾患ではVSD(心室中隔欠損)が多く、心電図異常では心室性期外収縮が最も多かった。

(8) 尿検査(腎臓検診・糖尿病検診)

小中学校児童・生徒の腎臓病、糖尿病の早期発見と適切な健康管理を図るため、下表の検査を実施している。

表 4 1 腎臓検診 検査内容

第1次検査	第2次検査	第3次検査
試験紙法による尿検査 (蛋白・糖・潜血・PH)	試験紙法による尿検査 (蛋白・糖・潜血・PH) 必要により沈渣顕微鏡検査	尿検査(四法方式) 小児科医による一般的診断 血圧測定 血液学的検査 血液生化学的検査 免疫学的検査

表 4 2 腎臓検診 検査結果 単位(人)

項目 種別	第 1 次 検 査		第 2 次 検 査		検 診 者 数 第 3 次	有 所 見 者 数	有 所 見 者 内 訳						
							要 受 診			単 独 所 見			
	受診者数	陽性者 数（± 以上）	受診者数	陽性者 数（± 以上）			腎 炎	腎炎疑	尿路 感染症	血尿	微量血尿	蛋白尿	その他
小学生	29,616	983 3.32	906	416 1.40	264	217 0.73	0 0.00	7 0.02	2 0.01	60 0.20	114 0.38	33 0.11	0 0.00
中学生	13,137	1,119 8.52	986	332 2.53	234	114 0.87	0 0.00	8 0.06	4 0.03	15 0.11	37 0.28	48 0.37	0 0.00

※ 要受診者の症状(血尿や尿蛋白の重複)は、単独所見の件数に含まれていない。

※ 起立性尿蛋白は管理不要とし有所見者数に含まれていない。

第3次検査の結果、小学生に7人、中学生に8人、腎炎の疑いのある者が発見された。

表 4 3 糖尿病検診 検査内容

第1次検査	第2次検査	第3次検査
試験紙法による尿検査 (蛋白・糖・潜血・PH)	試験紙法による尿検査 (蛋白・糖・潜血・PH) 必要により沈渣顕微鏡検査	尿検査 (尿糖、インスリン、アセトン) 専門医による診察 ブドウ糖負荷試験(血糖、尿糖) 血液検査

表 4 4 糖尿病検診 検査結果

単位 上段(人) / 下段(%)

項目 種別	第 1 次 検 査		第 2 次 検 査		検 診 第 3 次 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 者 内 訳				
	受診者数	陽性者 数 (± 以上)	受診者数	陽性者 数 (± 以上)			糖尿病	糖尿病 疑	境界型 糖尿病	高インス リン血症	その他
小学生	29,616	36 0.12	25	9 0.03	5	2 0.01	2 0.01	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
中学生	13,137	36 0.27	28	9 0.07	4	1 0.01	1 0.01	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

第3次検査の結果、小学生2人、中学生に1人、糖尿病の者が発見された。

表 4 5 糖尿病発見数の年次推移

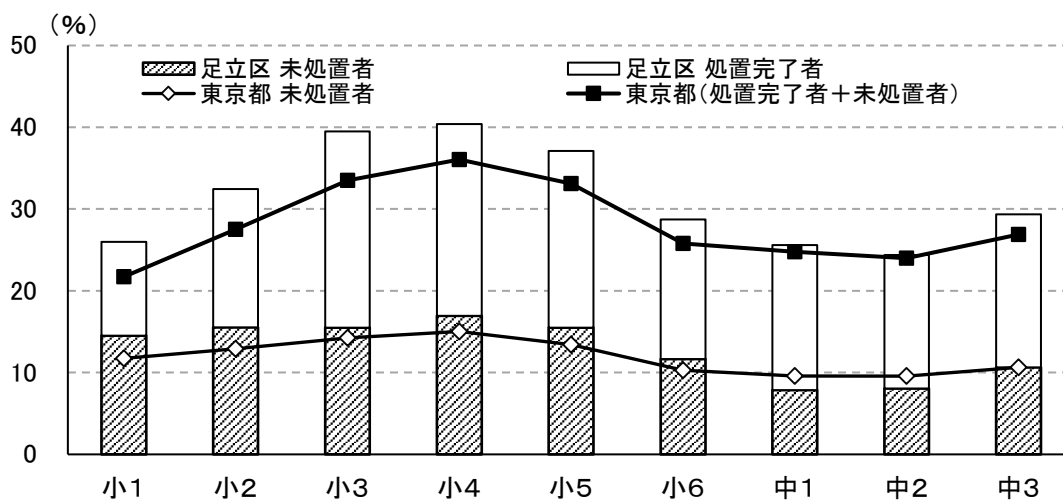
単位 (人)

種別	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
小学生	0	1	2	1	2
中学生	0	2	1	1	1

(9) 歯科健診

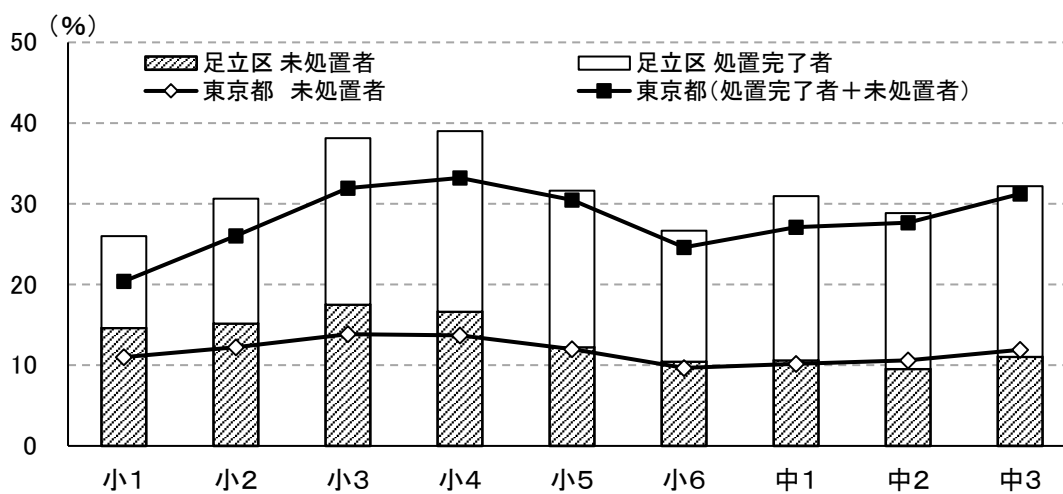
ア 乳歯または永久歯の虫歯(治療済みのむし歯も含む)のある児童生徒の割合

図31・表46 学年別割合および東京都比較 【男子】



		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
男子	足立区	25.99	32.43	39.50	40.38	37.09	28.73	25.61	24.40	29.37
	東京都	21.71	27.52	33.49	36.06	33.12	25.78	24.79	23.98	26.89

図32・表47 学年別割合および東京都比較 【女子】



		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
女子	足立区	25.99	30.62	38.11	39.02	31.64	26.65	30.94	28.84	32.18
	東京都	20.40	26.04	31.93	33.21	30.46	24.61	27.09	27.66	31.21

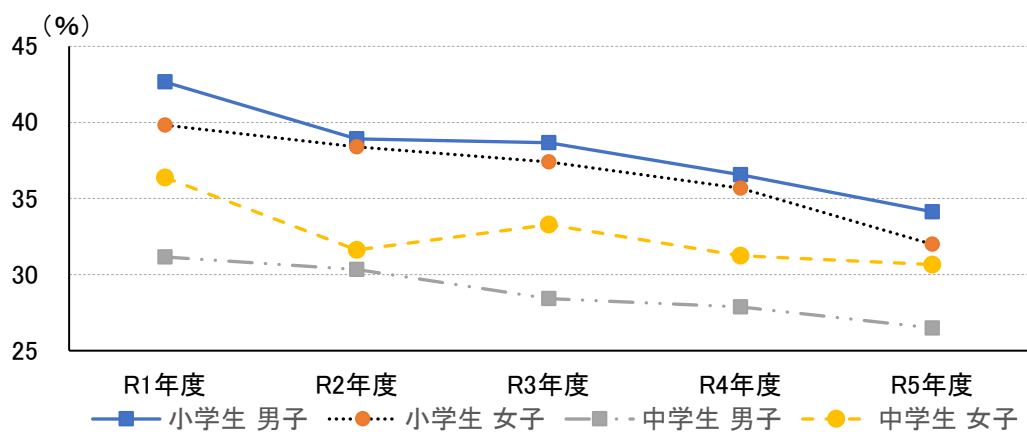
むし歯の被患率は、永久歯に生え変わる小学校高学年で一旦減少し、以降微増傾向にあった。東京都との比較では、むし歯被患率がすべての学年で東京都平均を上回った。

表 4 8・図 3 3 むし歯のある児童生徒の割合の年次推移

単位 (%)

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
小学生	男子	42.65	38.91	38.66	36.57	34.13
	女子	39.82	38.39	37.40	35.67	31.99
	総数	41.27	38.66	38.04	36.13	33.08
中学生	男子	31.16	30.33	28.43	27.87	26.49
	女子	36.38	31.61	33.27	31.24	30.66
	総数	33.73	30.95	30.75	29.48	28.51

『う歯被患率＝（処置完了者＋未処置歯のある者）÷歯科受診者数×100』とした。



小学生・中学生男女ともに年々減少傾向にあり、過去5年間で最も低かった。

表 4 9 むし歯のある児童生徒の割合の学年別年次推移

単位 (%)

		男 子					女 子				
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
小学生	小1	36.43	32.65	29.86	28.57	25.99	33.73	33.63	28.53	26.57	25.99
	小2	44.00	44.25	35.79	35.27	32.43	41.32	42.21	37.35	34.47	30.62
	小3	48.70	46.64	47.27	42.77	39.50	49.59	45.83	44.38	43.03	38.11
	小4	49.96	45.56	48.11	45.69	40.38	45.93	44.28	43.07	42.82	39.02
	小5	43.66	35.37	40.30	36.64	37.09	37.02	33.69	39.72	35.21	31.64
	小6	33.25	29.64	30.62	30.21	28.73	31.16	30.30	31.10	31.83	26.65
中学生	中1	32.73	28.42	26.76	26.19	25.61	36.51	28.74	31.03	28.77	30.94
	中2	29.40	30.87	26.50	28.60	24.40	35.04	32.74	32.18	32.21	28.84
	中3	31.18	31.91	32.15	28.82	29.37	37.45	33.44	36.64	32.79	32.18

令和元年度と比較すると、むし歯のある児童・生徒の割合は、男女ともすべての学年で減少した。

イ 歯肉に所見※のある児童生徒の割合(※=G:歯周疾患あり+GO:歯周疾患要観察)

図34・表50 学年別割合および東京都比較 【男子】

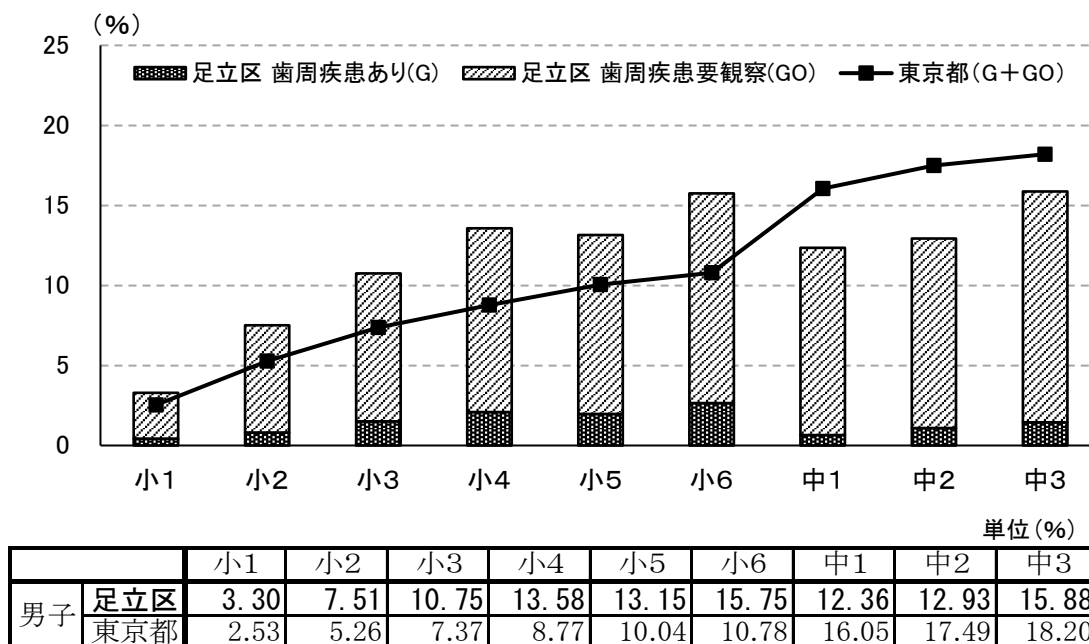
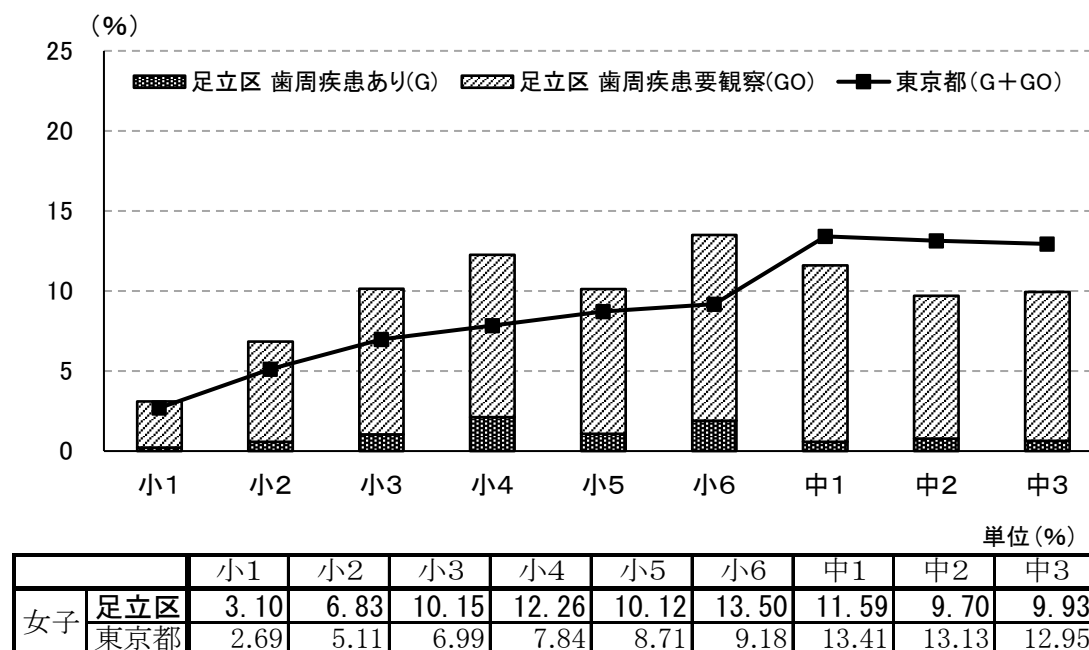


図35・表51 学年別割合および東京都比較 【女子】

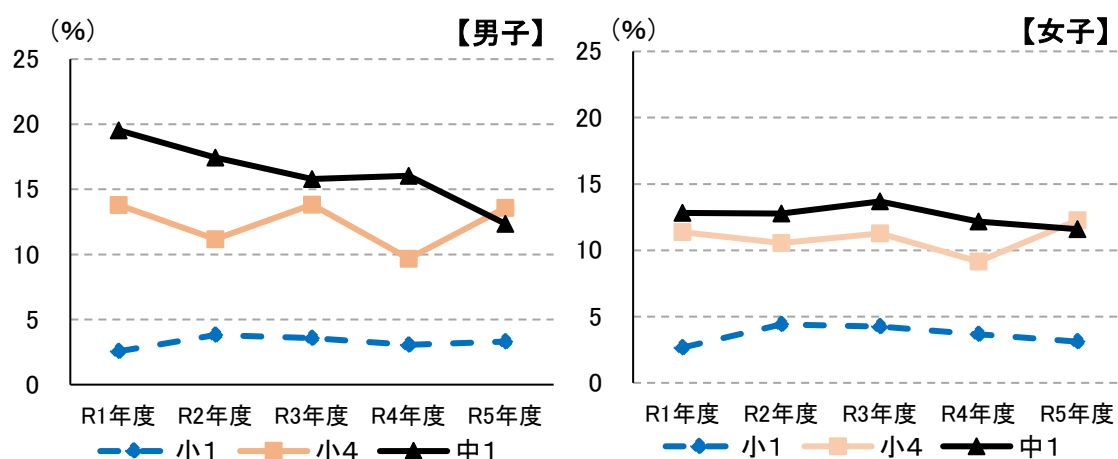


歯肉に所見のある児童・生徒の割合は、小学3年生以降が多かった。
東京都と比較すると、小学生は全ての学年で東京都平均を上回っていたが、中学生はすべての学年で東京都平均を下回った。

表 5 2 ・ 図 3 6 歯肉に所見のある児童生徒（G + G O）の年次推移

単位 (%)

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
小1	男子	2.56	3.81	3.57	3.06	3.30
	女子	2.66	4.40	4.25	3.67	3.10
小4	男子	13.81	11.18	13.83	9.68	13.58
	女子	11.37	10.54	11.28	9.15	12.26
中1	男子	19.54	17.45	15.79	16.04	12.36
	女子	12.81	12.76	13.68	12.16	11.59



小学4年生は所見のある割合は男女ともに増加した。

<参考>足立区糖尿病対策アクションプラン「歯科口腔保健対策編」より

■永久歯のう蝕（う歯）予防

単位 (%)

足立区糖尿病対策アクションプランの目標 (2023年度の目標)		R2年	R3年	R4年	R5年
小1でむし歯のない子の割合	75	66.88	70.80	72.41	74.01
小4で永久歯にむし歯のない子の割合	89	86.32	88.58	87.91	91.35
中1で永久歯にむし歯のない子の割合	78	74.59	74.91	76.31	76.33

■歯肉炎の予防

単位 (%)

足立区糖尿病対策アクションプランの目標 (2023年度の目標)		R2年	R3年	R4年	R5年
小4で歯肉に所見のない児童の割合	93	89.14	87.44	90.58	87.06
中1で歯肉に所見のない生徒の割合	87	84.75	85.22	85.83	88.02

ウ DMFT 指数（1人平均永久歯の虫歯保有数）

永久歯の一人平均う歯経験歯数（DMFT 指数）の算出方法

DMFT 指数とは永久歯のむし歯経験歯が、一人あたり何本あるかを示す数値

D……decayed：永久歯のむし歯で未処置の歯

M……missing because of decayed：むし歯が原因で失った永久歯

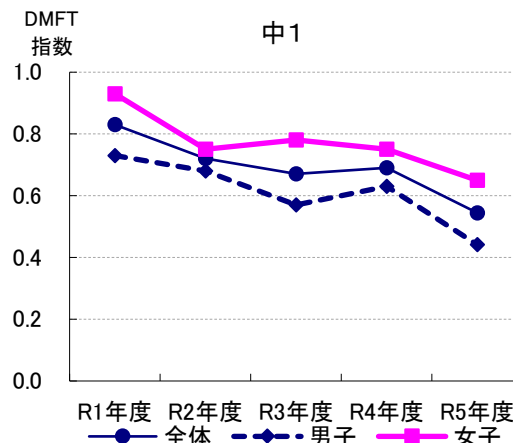
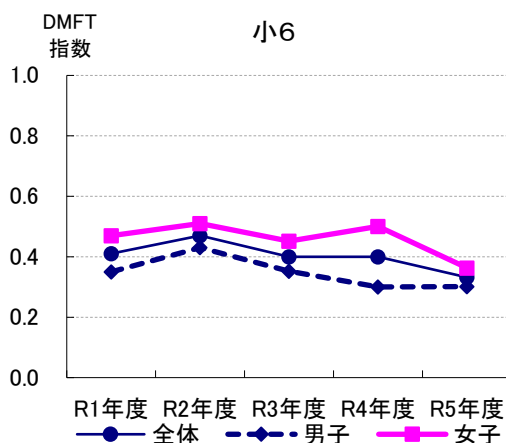
F……filled：永久歯のむし歯で処置を完了した歯

T……teeth（歯）の頭文字

$$\text{DMFT 指数} = \frac{\text{受診者のDMFT 歯の合計}}{\text{受診者数}}$$

表 53・図 37 DMFT 指数 年次推移

			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
小 6	総 数	DMFT 指数	0.41	0.47	0.40	0.40	0.33
		喪失歯数(M)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		う 処置歯数(F)	0.24	0.28	0.26	0.28	0.21
		歯 未処置歯数(D)	0.17	0.18	0.13	0.12	0.12
	男 子	DMFT 指数	0.35	0.43	0.35	0.30	0.30
		喪失歯数(M)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		う 処置歯数(F)	0.20	0.25	0.24	0.22	0.18
		歯 未処置歯数(D)	0.15	0.17	0.11	0.09	0.12
	女 子	DMFT 指数	0.47	0.51	0.45	0.50	0.36
		喪失歯数(M)	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00
		う 処置歯数(F)	0.28	0.32	0.29	0.34	0.24
		歯 未処置歯数(D)	0.19	0.19	0.15	0.16	0.12
中 1	総 数	DMFT 指数	0.83	0.72	0.67	0.69	0.54
		喪失歯数(M)	0.00	0.02	0.02	0.01	0.01
		う 処置歯数(F)	0.65	0.52	0.48	0.53	0.39
		歯 未処置歯数(D)	0.18	0.18	0.17	0.16	0.15
	男 子	DMFT 指数	0.73	0.68	0.57	0.63	0.44
		喪失歯数(M)	0.00	0.02	0.01	0.01	0.01
		う 処置歯数(F)	0.56	0.50	0.42	0.48	0.31
		歯 未処置歯数(D)	0.17	0.17	0.14	0.14	0.12
	女 子	DMFT 指数	0.93	0.75	0.78	0.75	0.65
		喪失歯数(M)	0.00	0.01	0.03	0.01	0.01
		う 処置歯数(F)	0.73	0.54	0.55	0.57	0.46
		歯 未処置歯数(D)	0.20	0.20	0.20	0.17	0.18



DMFT 指数は、小学6年生、中学1年生ともにやや減少傾向であった。

4 脊柱側わん症検診

小中学校児童・生徒の脊柱異常（脊柱がねじれを伴って左右に曲がった状態等）の早期発見・適切な健康管理を図るため、下表の検診を実施している（足立区独自で実施の検診）。

表 5 4 検診内容

第1次検診			第2次検診		
内 容	対 象 者		内 容	対 象 者	
モアレ撮影 (立位背面)	1) 小学5年・中学2年の全員 2) 前年度に次年度モアレ撮影 となった者 3) 他学年抽出者		直接エックス線撮影 専門医の診察	1) 今年度要精密検査になった者 2) 前年度に次年度エックス線撮影 となった者	

※ モアレ撮影とは、背中に光を当て、背骨の曲がりやねじれの有無を調べる検査。

※ 他学年抽出者とは、定期健康診断で校医が必要と認めた者。

表 5 5 第 1 次検診結果

単位 上段(人) / 下段(%)

区分 \ 項目		受診者数			有所見者			有所見者の内訳									
								病院管理			次年度モアレ再検査			要2次検診			
		男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	
小学生	小5		2,482	2,445	4,927	81	239	320	1	0	1	72	188	260	8	51	59
						3.26	9.78	6.49	0.04	0.00	0.02	2.90	7.69	5.28	0.32	2.09	1.20
	他学年	前年より	90	170	260	28	105	133	0	1	1	20	62	82	8	42	50
		1次受診	31	25	56	5	4	9	0	0	0	4	3	7	1	1	2
中学生	中2		2,108	1,968	4,076	227	356	583	0	7	7	172	254	426	55	95	150
						10.77	18.09	14.30	0.00	0.36	0.17	8.16	12.91	10.45	2.61	4.83	3.68
	他学年	前年より	181	272	453	98	185	283	0	0	0	6	17	23	92	168	260
		1次受診	51	68	119	6	23	29	0	2	2	0	5	5	6	16	22

表 5 6 第 2 次検診結果

単位 (人)

項目 区分		対象者数			受診者数			第2次検診結果									
								要治療			要経過観察			次年度直接XP再検査			正常範囲
		男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	総数
小学生	小5	8	51	59	6	40	46	0	7	7	1	14	15	1	8	9	15
	他学年 前年より	9	53	62	7	46	53	0	7	7	0	19	19	3	15	18	9
	1次受診	1	1	2	1	1	2	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0
中学生	中2	60	107	167	39	79	118	3	7	10	8	34	42	18	30	48	18
	他学年 前年より	105	208	313	80	157	237	1	5	6	47	92	139	3	13	16	76
	1次受診	6	16	22	3	10	13	0	3	3	0	5	5	0	0	0	5

※ 第2次検診の対象者は、前年の検査結果により第2次検診のみ再検査の者が含まれる。

男子より女子の方が、要治療、要経過観察者が多かった。

5 就学時健康診断

小学校への就学予定児を対象に、その心身の状態を把握し、健康上、適正な就学指導を行うため、毎年各小学校で健康診断を実施している。

表 5 7 就学時健康診断結果

単位 (人)

				男子	女子	計		
① 受診者数				2,270	2,280	4,550	—	
検 査 項 目	② 栄養状態	栄養不良		0	0	0	0.00%	
		肥満傾向		5	1	6	0.13%	
	③ 脊柱異常		0	0	0	0.00%		
	④ 胸郭異常		4	4	8	0.18%		
	⑤ 裸眼視力0.3未満の者		29	42	71	1.56%		
	⑥ 難聴（両耳）		24	40	64	1.41%		
	⑦ 眼の疾病及び異常		115	113	228	5.01%		
	⑧ 耳鼻咽喉頭疾患		485	409	894	19.65%		
	⑨ 皮膚疾患		33	20	53	1.16%		
	⑩ 心臓の異常		6	13	19	0.42%		
	⑪ 運動機能障害		1	0	1	0.02%		
	⑫ 身体虚弱		0	0	0	0.00%		
	⑬ その他の疾病及び異常		14	14	28	0.62%		
	疾⑭ 歯・ 及び口 腔常 の	う 歯	乳 歯	処置完了者	278	263	541	11.89%
				未処置歯のある者	303	279	582	12.79%
永 久 歯			処置完了者	30	37	67	1.47%	
			未処置歯のある者	7	8	15	0.33%	
不正咬合		112	113	225	4.95%			
その他口腔の疾病及び異常		93	99	192	4.22%			

表 5 8 ・ 図 3 8 裸眼視力0.3未満の年次推移

単位 (%)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
男子	1.75	2.02	2.08	1.74	1.28
女子	1.49	2.25	1.91	1.74	1.84

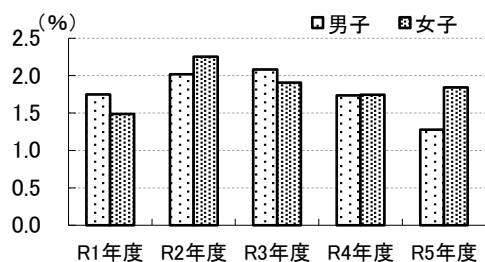
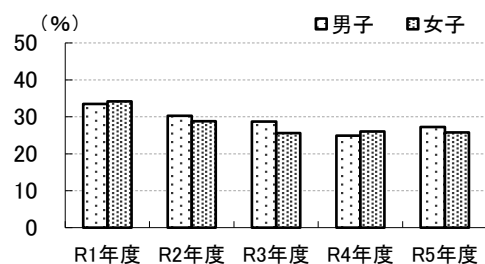


表 5 9 ・ 図 3 9 う歯有病率の年次推移

単位 (%)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
男子	33.52	30.29	28.75	24.92	27.22
女子	34.16	28.77	25.59	26.06	25.75



6 児童生徒の感染症り患状況

(1) 調査の概要

小中学校の児童・生徒を対象に、学校感染症による出席停止者数を調査している。流行の状態を把握し、感染症予防に役立てている。

(2) 月別患者数

表 60 出席停止月別患者数 【小学生】

単位 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
第1種	新型コロナウイルス感染症	1,823	281										2,104
第2種	インフルエンザ	142	41	63	36	0	1,303	2,882	2,246	1,688	2,026	3,522	15,635
	百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	流行性耳下腺炎	8	7	7	4	0	5	11	8	5	3	7	70
	風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	水痘	6	8	28	15	0	27	15	15	5	19	6	163
	咽頭結膜熱	1	2	16	13	0	22	69	117	93	25	18	384
	新型コロナウイルス感染症		143	286	231	0	998	104	41	56	532	412	2,873
	結核	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第3種	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎	3	11	0	1	0	9	13	11	10	7	5	76
	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	腸チフス・パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	溶連菌感染症	18	48	38	28	0	60	201	341	331	214	216	1,703
	ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手足口病	1	14	26	12	0	16	7	6	4	0	0	86
	伝染性紅斑	0	1	0	0	0	2	0	0	0	2	1	3
	マイコプラズマ感染症	1	0	5	2	0	1	8	8	5	2	2	34
	感染性胃腸炎	50	107	99	31	0	25	31	63	91	73	77	687
	ヘルパンギーナ	0	10	82	100	0	12	4	6	1	0	2	217
	帯状疱疹	1	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	5
	その他	35	8	5	4	0	3	1	4	2	2	5	71
	月 計	2,089	681	657	478	0	2,483	3,346	2,867	2,291	2,905	4,270	24,117

表 61 出席停止月別患者数 【中学生】

単位 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
第1種	新型コロナウイルス感染症	120	23										143
第2種	インフルエンザ	26	15	20	4	0	481	1,228	566	534	757	941	5,068
	百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	流行性耳下腺炎	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	1	5
	風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	水痘	1	2	2	2	0	2	0	2	3	0	3	20
	咽頭結膜熱	0	1	0	2	0	1	1	6	2	1	2	16
	新型コロナウイルス感染症		114	157	147	0	601	91	28	35	234	246	1,693
	結核	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第3種	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎	0	0	2	0	0	3	1	3	0	2	1	12
	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	溶連菌感染症	1	2	5	1	0	6	8	11	17	11	13	81
	ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手足口病	0	1	1	1	0	0	2	1	0	0	0	6
	伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	マイコプラズマ感染症	0	1	1	0	0	0	2	2	0	1	1	8
	感染性胃腸炎	10	15	15	5	0	12	7	6	18	29	18	151
	ヘルパンギーナ	0	1	6	6	0	0	2	1	0	0	0	16
	帯状疱疹	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
	その他	18	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	20
	月 計	176	176	209	171	0	1,107	1,343	627	610	1,036	1,225	7,242

※ 令和5年5月8日までは以下について、「第1種 新型コロナウイルス感染症」として集計し、令和5年5月8日以降は、新型コロナウイルス感染症り患者を「第2種 新型コロナウイルス感染症」として集計した。

- ア 新型コロナウイルス陽性と判定された者 イ 検疫所等から要請された期間、自宅待機をした者
 ウ 濃厚接触者として自宅待機となった者 エ 発熱等の風邪症状がみられ自宅休養となった者
 オ 家族に発熱等の症状があり自宅待機になった者
 カ 新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種後、発熱等風邪様症状がみられる者

(3) 過去3年間の主なり患状況

図40 新型コロナウイルス感染症(小学生)

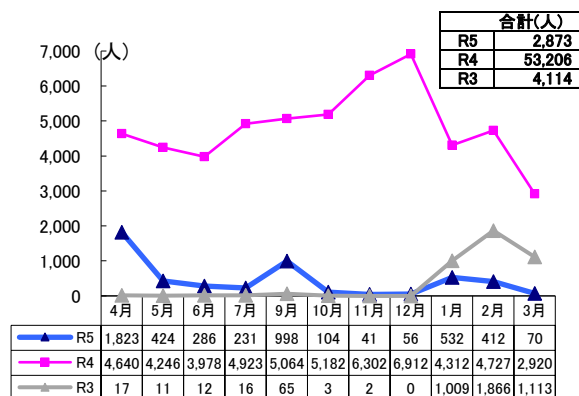
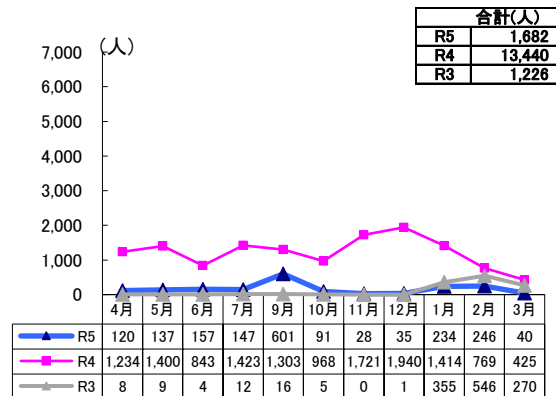


図41 新型コロナウイルス感染症(中学生)



※ 令和3年度および令和5年5月8日以降は新型コロナウイルス感染症罹患患者数の集計であるが、令和4年度から令和5年5月8日までについては、新型コロナウイルス感染症に関連した出席停止者数を集計している。

図42 インフルエンザ(小学生)

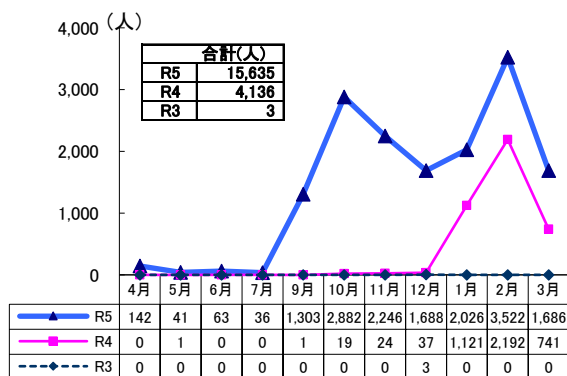
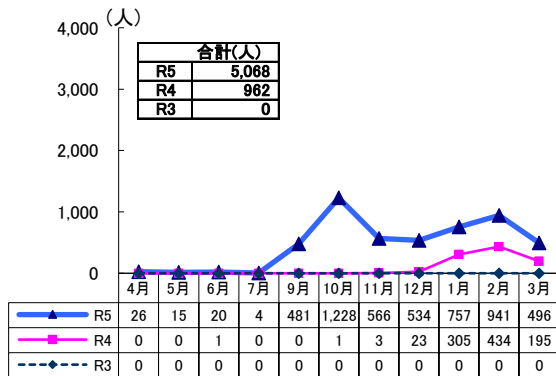


図43 インフルエンザ(中学生)



インフルエンザの罹患数は、9月頃から急速に増加した。

図44 溶連菌感染症(小学生)

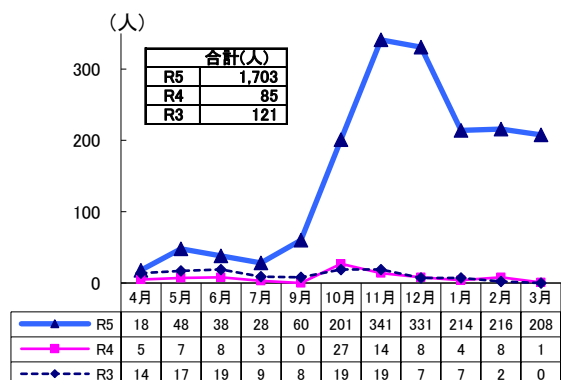
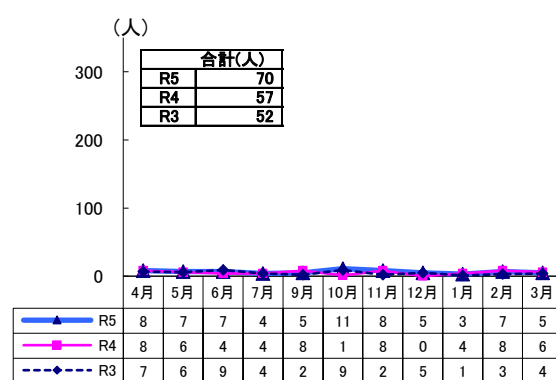


図45 流行性耳下腺炎(小学生)



溶連菌感染症の罹患数は、10月から急速に増加した。

7 学校管理下における災害統計

災害統計は、小・中学校の管理下における児童生徒の負傷および疾病（熱中症・食中毒等）の災害報告のまとめである。

（１）災害発生状況

表 6 2 災害発生件数および発生率

単位 在籍人数(人)/件数(件)/発生率(%)

	小学生			中学生			合 計		
	在籍数	災害件数	発生率	在籍数	災害件数	発生率	在籍数	災害件数	発生率
R1年度	31,507	819	2.60	13,345	566	4.24	44,852	1,385	3.09
R2年度	31,213	586	1.88	13,429	457	3.40	44,642	1,043	2.34
R3年度	30,773	644	2.09	13,789	500	3.63	44,562	1,144	2.57
R4年度	30,276	633	2.09	13,719	481	3.51	43,995	1,114	2.53
R5年度	29,727	717	2.41	13,555	574	4.23	43,282	1,291	2.98

※ 災害件数には、疾病件数（令和 5 年度は小学校 4 9 件、中学校 5 1 件）を含む。

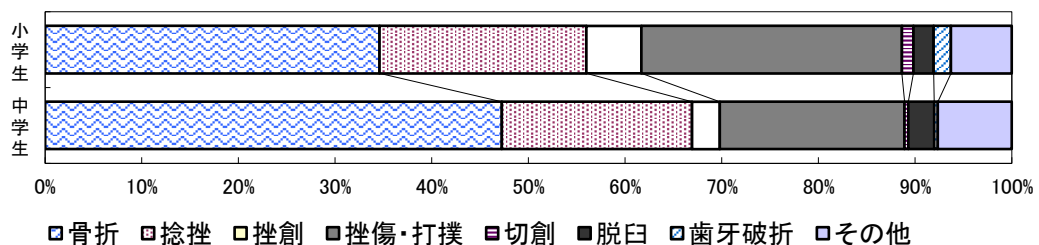
※ 在籍数は各年度 5 月 1 日現在の人数。

過去 5 年間の災害発生件数および発生率は、小学生・中学生ともに概ね横ばいであった。

表 6 3 ・ 図 4 6 負傷の種類

単位 上段(件) / 下段(%)

種類		骨折	捻挫	挫創	挫傷・打撲	切創	脱臼	歯牙破折	その他	合計
小学生	件数	231	143	38	180	8	14	12	42	668
	割合	34.58	21.41	5.69	26.95	1.20	2.10	1.80	6.29	100.00
中学生	件数	247	103	15	100	2	14	2	40	523
	割合	47.23	19.69	2.87	19.12	0.38	2.68	0.38	7.65	100.00
合計	件数	478	246	53	280	10	28	14	82	1,191
	割合	40.13	20.65	4.45	23.51	0.84	2.35	1.18	6.88	100.00



小学生・中学生ともに骨折が最も多かった。

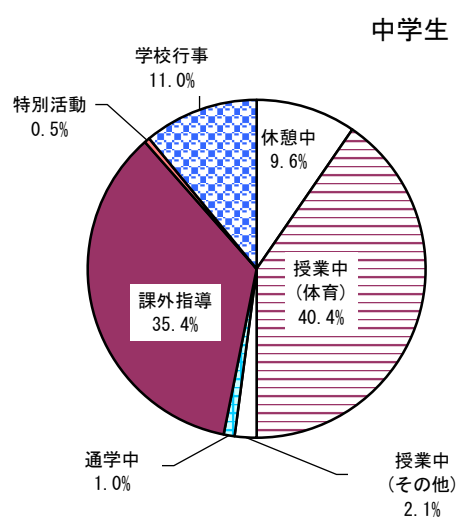
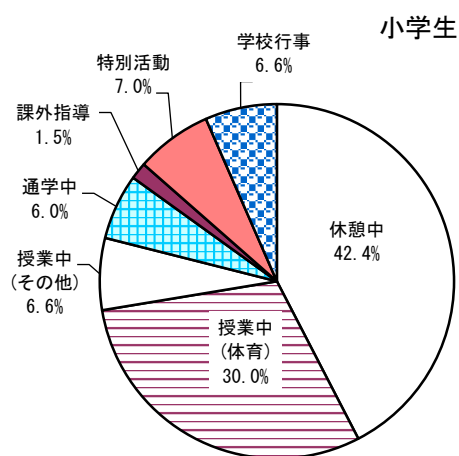
表 6 4 ・ 図 4 7 災害発生時の活動状況

単位 上段(件) / 下段(%)

時間帯		休憩中	授業中		通学中	課外指導	特別活動	学校行事	合計
			体育	その他					
小学生	件数	304	215	47	43	11	50	47	717
	割合	42.40	29.99	6.56	6.00	1.53	6.97	6.56	100.00
中学生	件数	55	232	12	6	203	3	63	574
	割合	9.58	40.42	2.09	1.05	35.37	0.52	10.98	100.00
合計	件数	359	447	59	49	214	53	110	1,291
	割合	27.81	34.62	4.57	3.80	16.58	4.11	8.52	100.00

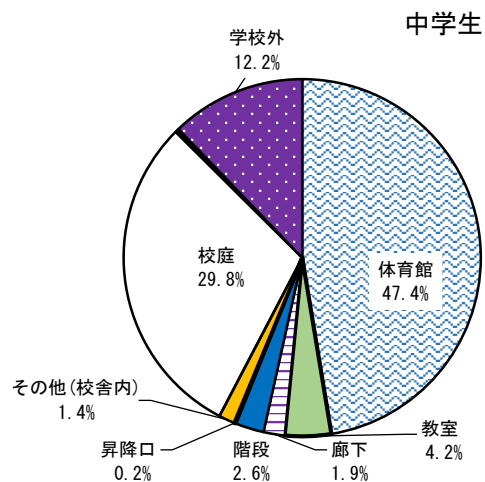
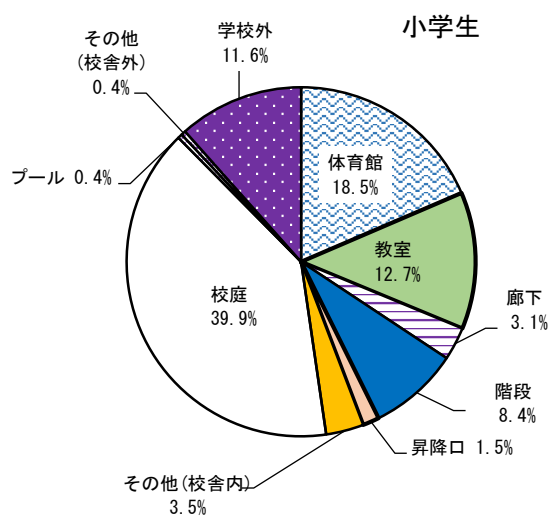
※ 休憩中 … 始業前、放課後等を含む。

※ 課外指導… 部活動、林間学校、水泳指導など。



小学生は休憩中の災害、中学生は体育の授業中の災害が多かった。

図 4 8 災害発生時の場所

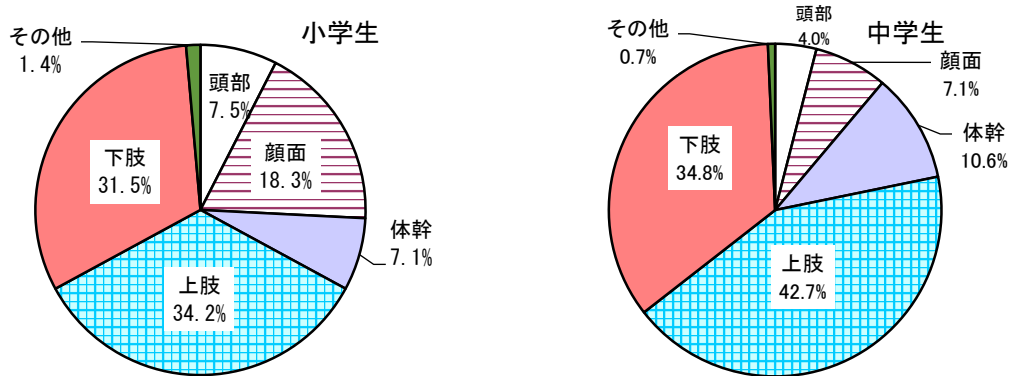


小学生は校庭、中学生は体育館・校庭での災害が多かった。

表 6 5 ・ 図 4 9 災害の部位別発生状況

単位 上段(件) / 下段(%)

部位別		頭 部	顔 面	体 幹	上 肢	下 肢	その他	合 計
小学生	件 数	54	131	51	245	226	10	717
	割 合	7.53	18.27	7.11	34.17	31.52	1.39	100.00
中学生	件 数	23	41	61	245	200	4	574
	割 合	4.01	7.14	10.63	42.68	34.84	0.70	100.00
合 計	件 数	77	172	112	490	426	14	1,291
	割 合	5.96	13.32	8.68	37.96	33.00	1.08	100.00

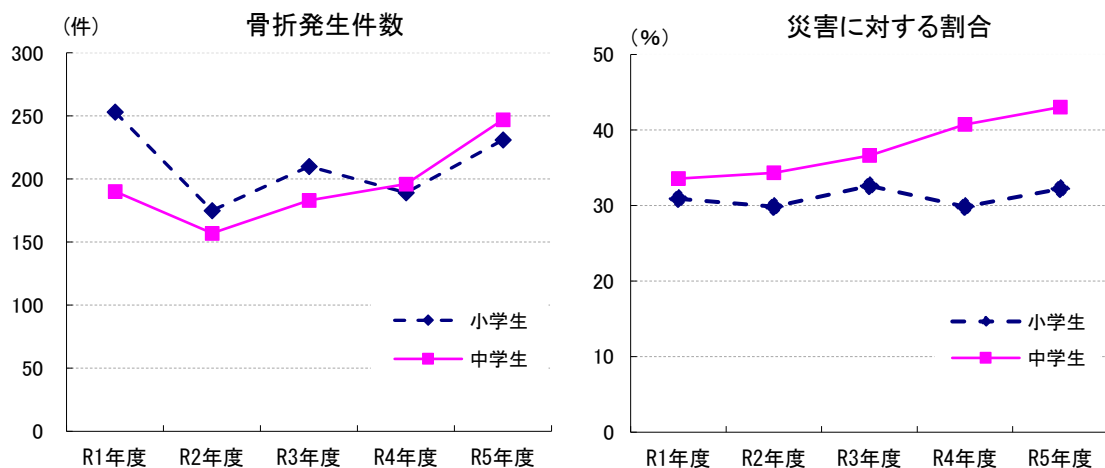


小学生、中学生ともに上肢を負傷する災害が最も多かった。

表 6 6 ・ 図 5 0 骨折発生件数および発生率の推移

単位 上段(件) / 割合(%)

	小学生			中学生			合 計		
	件 数	在籍数に対する骨折の割合	災害に対する割合	件 数	在籍数に対する骨折の割合	災害に対する割合	件 数	在籍数に対する骨折の割合	災害に対する割合
R1年度	253	0.80	30.89	190	1.42	33.57	443	0.99	31.99
R2年度	175	0.56	29.86	157	1.17	34.35	332	0.74	31.83
R3年度	210	0.68	32.61	183	1.33	36.60	393	0.88	34.35
R4年度	189	0.62	29.86	196	1.43	40.75	385	0.88	34.56
R5年度	231	0.78	32.22	247	1.82	43.03	478	1.10	37.03



小学生、中学生ともに骨折発生件数は前年度に比べ増加し、災害に対する割合もやや増加した。

(2) 災害共済掛金および給付状況

表 6 7 災害共済掛金 単位(円)

	掛 金 額
小学校	26,896,505
中学校	12,105,900
合 計	39,002,405

表 6 8 給付件数・金額 単位 件数(件) /金額(円)

	小学校		中学校		合計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金額
死亡見舞金	0	0	0	0	0	0
障害見舞金	0	0	1	1,500,000	1	1,500,000
医療費給付	1,260	10,534,872	1,291	14,018,828	2,551	24,553,700
供 花 料	0	0	0	0	0	0
合 計	1,260	10,534,872	1,292	15,518,828	2,552	26,053,700

表 6 9 医療費別給付状況

種類 月	小学校		中学校		合計	
	件 数	給付金額	件 数	給付金額	件数	金額
4	138	1,215,995	138	1,273,257	276	2,489,252
5	137	1,140,892	159	1,798,559	296	2,939,451
6	122	991,356	115	1,151,456	237	2,142,812
7	102	586,910	67	1,030,415	169	1,617,325
8	121	952,910	136	1,113,335	257	2,066,245
9	110	1,089,775	125	1,128,809	235	2,218,584
10	13	165,644	37	391,110	50	556,754
11	79	747,280	75	804,956	154	1,552,236
12	73	529,392	118	968,997	191	1,498,389
1	120	969,433	106	1,515,099	226	2,484,532
2	88	800,882	57	566,640	145	1,367,522
3	157	1,344,403	158	2,276,195	315	3,620,598
合 計	1,260	10,534,872	1,291	14,018,828	2,551	24,553,700
災害1件あたりの平均給付金額					¥19, 019-	

災害1件あたりの平均給付金額＝合計給付金額／災害発生件数(給付件数ではない)

「負傷の種類」や「災害発生時の活動状況」等の数字は“負傷”の件数で“疾病”の件数は入っていない。

災害発生件数は“負傷”件数＋“疾病”件数である。

【資料 1】 貧血・小児生活習慣病予防健診 判定基準

1 『項目別判定』及び『コメント』

(1) 小児生活習慣病予防健診

① 肥満（肥満度）

肥満度は、年齢・性別・身長別の標準体重から算出する。

肥満度(%)	判定
50.0%以上	a かなりの肥満
30.0 ~ 49.9%	b 肥 満
20.0 ~ 29.9%	c 肥 満 ぎ み
-19.9 ~ 19.9%	n 正常体格群
-20.0%以下	y やせすぎ傾向

③ 血清脂質

(ア) 総コレステロールとHDLコレステロール

総コレステロール (mg/dl)	HDLコレステロール (mg/dl)
280	a
240	a
220	b
190	c
	d
	d

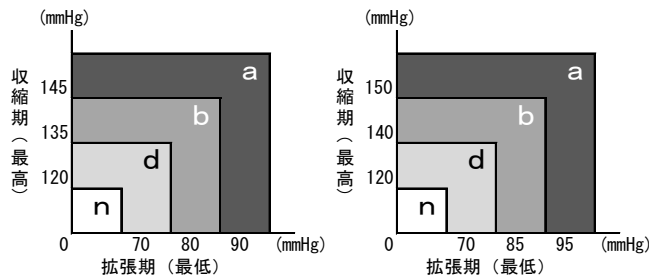
HDLコレステロール

② 血圧

小学生【男女】と中学生【女】

中学生【男】と中学生【男女】

(イ) LDLコレステロール



a : 高血圧 d : 正常範囲だがやや高め
b : 軽度の高血圧 n : 正常範囲

190 mg/dl 以上	a
160 ~ 189 mg/dl	b
140 ~ 159 mg/dl	c
110 ~ 139 mg/dl	d
109mg/dl 以下	n

a : 血清脂質の値にかなり異常
b : 血清脂質の値に異常
c : 血清脂質の値に異常傾向
d : 血清脂質の値にやや異常傾向
n : 正常範囲

血清脂質判定において、(ア)と(イ)の判定が異なるときはより重い方の判定を採択し、両者が同一判定区分であれば(aとnを除く)1ランク上の重い判定とする。

(2) 貧血検査

性別・年齢別の基準値 ※平成29年度に基準値・分類を変更。

男女	全員	白血球数(/mm ³)
		3,000~12,900

		赤血球数(万/mm ³)	血色素量(g/dl)	平均赤血球容積(fl)
男子	6~12歳	371 ~ 600	11.6 ~ 16.0	75.0 ~ 99.9
	13~14歳		12.1 ~ 17.0	
	15歳	381 ~ 629	12.6 ~ 18.0	
	16歳以上		13.1 ~ 18.0	
女子	6~12歳	371 ~ 600	11.6 ~ 16.0	75.0 ~ 99.9
	13歳以上	371 ~ 549	12.0 ~ 16.0	

2 『総合判定区分』及び『コメント』

I-1	糖尿病が(a)	要医学的管理	引き続き専門医を受診してください。
I-2	1項目でも(a)※I-1除く	要医学的管理	専門医に相談してください。
I-3	(a)は無いが「血圧」「脂質」共に(b)	要医学的管理	専門医に相談してください。
II	(a)は無いが1項目でも(b)	要経過観察	医師や学校の先生・保護者の方などと相談し、バランスのとれた食生活と適度な運動を心がけてください。 6ヶ月~1年後には再検査を受けてください。
III	(a)(b)は無いが1項目でも(c)	要生活指導	バランスのとれた食生活と適度な運動を心がけてください。
IV	(a)(b)(c)は無いが1項目でも(d)	管理不要	今後とも、正しい生活習慣を心がけてください。 ※次回の健診時にいろいろな検査項目の変化にもよく注意してみましょう。
n	すべての項目が(n)	正 常	今回の健診結果では特に異状はありませんでした。 現在のよい状態を続けるよう心がけてください。

3 ヘモグロビンA1cの判定基準

高 値	a	6.5%以上	専門医療機関で精密検査をお勧めします。
	b	6.0~6.4%	医療機関(かかりつけ医、学校医)で再検査(空腹時血糖・ヘモグロビンA1c検査)をお勧めします。
正常範囲	d	5.6~6.4%	正常高値です(2年生は来年度、学校で再検査)。
	n	5.5%以下	正常範囲内です。

【資料 2】 定期健康診断疾病異常調査の概要

1 調査の内容

学校保健安全法による定期健康診断の結果から、区立小・中学校の児童生徒の健康実態を把握することを目的に調査を実施している。

(1) 対象

区立小・中学校における令和 5 年度定期健康診断を受診した児童生徒全員

(2) 項目

学校保健安全法に基づく定期健康診断における検査項目及び、その他、児童・生徒の健康実態を把握するために必要な事項

ア 児童生徒の発育状態（身長・体重・肥満度）

イ 疾病異常調査 調査項目の詳細については、次頁参照

(3) 期間

令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月末日（学校保健安全法による定期健康診断実施時期）

※ 令和 5 年度は、文部科学省の通知により、新型コロナウイルス感染症の影響により例年 6 月末日までに実施される健康診断について当該年度末までに実施することとなった。

(4) 方法

ア 児童生徒の発育状態

C 4 t h（校務支援システム）にて身体計測（身長・体重）及び肥満度の調査を各小・中学校へ依頼し、集計する。

イ 疾病異常調査 調査項目の詳細については、次頁参照

各小・中学校から「定期健康診断疾病異常調査票」を回収、集計し東京都へ報告する。

※ 疾病異常調査データの集計は、末巻に掲載【資料 3（A 3 版）】

本報告書では、この資料を元に東京都との比較、年次推移等の加工データを掲載している。

学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令（平成 26 年文部科学省令第 21 号）

平成 26 年 4 月 30 日公布

児童生徒等の健康診断に係る改正規定 平成 28 年 4 月 1 日から施行

【改正に伴う平成 28 年度からの変更点】

(1) 座高の検査について、必須項目から削除

(2) 寄生虫卵の有無の検査について、必須項目から削除

(3) 「四肢の状態」を必須項目として加えるとともに、四肢の状態を検査する際は、四肢の形態及び発育並びに運動器の機能の状態に注意することを規定すること

→運動器検診の実施

(4) 色覚検査について、積極的な周知をし、希望者には適切に検査ができる体制を整えること

→色覚検査を希望者へ実施（小学 4 年生、中学 1 年生）

2 令和5年度 定期健康診断疾病異常調査 調査項目

No.	項目	調査内容	調査対象者
1	1在籍者数	5月1日現在の学年別在籍者数	全員
2	2受診者数	各学年毎の定期健康診断受診者数(以下の3栄養状態、4脊柱胸郭、9皮膚疾患、13その他の各項目をすべて受診した者)	全員
3	3栄養状態	(1)栄養不良 学校医により栄養不良で特に注意を要すると判定された者 ※BMI値等ではなく、学校医により判断された者の数を入力する。	全員
4	(2)肥満傾向	学校医により肥満傾向で特に注意を要すると判定された者 ※BMI値等ではなく、学校医により判断された者の数を入力する。	全員
5	4脊柱胸郭四肢	疾病・異常者数 以下の(1)脊柱側弯症・脊柱異常、(2)胸郭異常、(3)四肢異常のいずれかが、異常と判定された者の人数 1人が(1)から(3)で複数の異常がある場合は1人と数える	全員
6	(1)脊柱側弯症・脊柱異常	脊柱側弯症、脊柱側弯など脊柱の異常と判定された者	全員
7	(2)胸郭異常	胸郭異常と判定された者	全員
8	(3)四肢異常	四肢異常と判定された者	全員
9	5視力	裸眼視力 裸眼視力測定者 (1)～(4)の合計 裸眼視力を測定した者の数。以下(1)～(4)及び「眼鏡・コンタクト装用者」は裸眼視力を測定した者のみが対象。左右それぞれの測定値の低い方。	全員
10	(1)1.0以上	低い方の視力が1.0以上と判定された者	全員
11	(2)1.0未満0.7以上	低い方の視力が0.9から0.7と判定された者	全員
12	(3)0.7未満0.3以上	低い方の視力が0.6から0.3と判定された者	全員
13	(4)0.3未満	低い方の視力が0.2以下と判定された者	全員
14	(1)～(4)のうち、眼鏡・コンタクト装用者	裸眼視力測定者のうち、眼鏡やコンタクトレンズで視力矯正をしている者	全員
15	眼鏡・コンタクト装用のため矯正視力のみ測定者	眼鏡やコンタクトレンズで視力矯正をしているため、裸眼視力を測定できず、矯正視力のみ測定した者	全員
16	6眼疾患	受診者	全員
17	疾病・異常者数	以下の(1)感染性眼疾患、(2)アレルギー性眼疾患、(3)その他の眼疾患のいずれかと判定された者の人数 1人が(1)から(3)で複数の疾患がある場合は1人と数える	全員
18	(1)感染性眼疾患	咽頭結膜炎、流行性角結膜炎、出血性結膜炎と判定された者	全員
19	(2)アレルギー性眼疾患	ここ1年以内に、アレルギー性結膜炎、春季カタル、花粉症などのアレルギー性の眼疾患と判定された者	全員
20	(3)その他の眼疾患	感染性眼疾患、アレルギー性眼疾患以外の眼疾患・異常のある者。疑似トラコーマ、麦粒腫(ものもらい)、眼炎、斜視、睫毛内反(さかさまつげ)、先天性の色素不足による金銀眼、片目失明などの疾患・異常と判定された者。また視力低下の原因となる疾患・異常(例えば網膜色素変性、緑内障)を含むが、近視、遠視、乱視などの屈折異常は除く。	全員
21	7聴力	受診者	小学1～3年・5年 中学1年・3年
22	難聴	オーディオメーターを使用して検査をした場合、両耳とも1,000ヘルツにおいて30デシベル又は4,000ヘルツにおいて25デシベル相当の音が聴取できない者	小学1～3年・5年 中学1年・3年
23	8耳鼻咽	受診者	全員
24	24喉科疾患	(1)耳疾患 難聴以外の耳疾患・異常の者。例えば急性又は慢性中耳炎、内耳炎、外耳炎、メニエール病、耳介の欠損、耳垢栓塞等の疾患・異常と判定された者	全員
25	(2)鼻・副鼻腔疾患	以下の「ア アレルギー性鼻疾患」、「イ その他の鼻・副鼻腔疾患」のいずれかと判定された者の人数 1人がア及びイの両方の疾患がある場合は1人と数える	全員
26	ア アレルギー性鼻疾患	ここ1年以内に、アレルギー性鼻炎、花粉症などの鼻のアレルギー性疾患と判定された者	全員
27	イ その他の鼻・副鼻腔疾患	鼻アレルギー以外の鼻・副鼻腔疾患・異常の者。例えば慢性副鼻腔炎(蓄膿症)、慢性的症状の鼻炎、鼻ポリープ、鼻中隔湾曲等。ただし感冒による一時的な鼻炎等の疾患・異常と判定された者は除く。	全員
28	(3)口腔咽喉頭疾患	アデノイド、扁桃肥大、咽頭炎、喉頭炎、扁桃炎、音声言語異常などの疾患・異常と判定された者。ただし感冒による一時的な咽頭炎などの疾患・異常と判定された者は除く。	全員
29	9皮膚疾患	(1)感染性皮膚疾患 白癬、疥癬、その他の感染性皮膚疾患と判定された者	全員
30	(2)アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎)	ここ1年以内に、アトピー性皮膚炎と判定された者	全員
31	(3)アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎以外)	ここ1年以内に、蕁麻疹や薬疹、接触皮膚炎などのアトピー性皮膚炎以外のアレルギー性皮膚疾患と判定された者	全員
32	(4)その他の皮膚疾患	上記、(1)感染性皮膚疾患、(2)アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎)、(3)アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎以外)以外の皮膚疾患と判定された者	全員

※令和5年度学校保健統計調査実施通知より

【資料 2】 定期健康診断疾病異常調査の概要

No.	項 目		調 査 内 容	調 査 対 象 者	
33	10結核	受診者	結核検診(問診及び学校医による診察)を受けた者の数	全員	
34		(1)結核患者	結核患者と判定された者。個人的に医師の診察を受けて結核と診断された者を含む。潜在性結核を除く。	全員	
35		(2)精密検査対象者	結核検診の結果、ツベルクリン反応検査、エックス線撮影などの精密検査の対象となった者	全員	
36	11心臓	受診者(心電図検査)	心電図検査の受診者数	小学1年 中学1年	
37		(1)心臓疾患	心膜炎、心包炎、心内膜炎、弁膜症、狭心症、心臓肥大、その他の心臓疾患・異常の者。心電図異常のみの者は含まない。	全員	
38		(2)心電図異常	心電図検査の結果で二次検診の対象となった者	小学1年 中学1年	
39	12検尿	受診者		全員	
40		(1)尿蛋白検出	第一次検査の結果、尿蛋白が検出された者(判定が陽性(+)以上)	全員	
41		(2)尿糖検出	第一次検査の結果、尿糖が検出された者(判定が陽性(+)以上)	全員	
42	13その他	(1)気管支喘息	ここ1年以内に、気管支喘息と判定された、または医療機関で経過観察管理中の者	全員	
43		(2)腎臓疾患	急性及び慢性腎炎、ネフローゼ症候群などの腎疾患と判定された者	全員	
44		(3)言語障害	話し言葉の働きに障害のある者をいい、例えば、吃音(どもり)、発音の異常、発声の異常(聞きつき手が理解しにくい程度の発音や声の障害)、口蓋裂、脳性麻痺等に伴う言葉の異常、難聴によるこがれつ発音の異常、その他情緒的原因による緘黙症、自閉症や言語中枢に障害のある失語症である。	特別支援学校 以外全員	
45		(4)その他の疾病・異常	この調査のいずれの項目にも該当しない疾病・異常	特別支援学校 以外全員	
46	14歯科	(1)歯科受診者	歯及び口腔の検査を受けた者の数	全員	
47		(2)う歯・乳歯又は永久歯に要観察歯	ア 処置完了した永久歯のう歯	乳歯又は永久歯にう歯(COは入れない)がある者のうち、全部のう歯の処置が完了している者	全員
48			イ 未処置歯のある者	乳歯又は永久歯にう歯(COは入れない)がある者のうち、処置が完了していない歯が1本以上ある者	全員
49			ウ 永久歯のう歯経験者	永久歯のう歯について、処置が完了している者、及び処置が完了していない歯が1本以上ある者	全員
50			エ 乳歯または永久歯に要観察歯のある者	乳歯又は永久歯に要観察歯(CO)が1本以上ある者	全員
51		(3)歯肉の状態	ア 歯周疾患	「歯肉の状態」が2と判定された者 ※歯石や歯垢のみの場合は含まない。	全員
52			イ 歯周疾患要観察者	「歯肉の状態」が1と判定された者 ※歯石や歯垢のみの場合は含まない。	全員
53		(4)歯列・咬合の異常	「歯列・咬合」が2と判定された者	全員	
54		(5)顎関節の異常	「顎関節」が2と判定された者	全員	
55		(6)歯垢の状態	歯に相当の付着がある者をいう。小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び中等教育学校については、各学校種の歯・口腔の健康診断票において、「歯垢の状態」が「2」(相当の付着がある)と判定された者。(歯石含む)	全員	
56		(7)その他の歯・口腔の疾病・異常	「その他の疾病及び異常」欄に記載のある者 ※むし歯や歯周疾患、歯列・咬合および顎関節以外の歯・口腔の疾患・異常(例えば、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂(こがれつ)、舌小帯異常、だ石、癒合歯、過剰歯、先天性欠如の疑い、エナメル質形成不全等)が該当する。歯石や歯垢は含まない。	全員	
57	(8)永久歯のう歯の内容	ア 未処置歯数(D)	未処置歯の数	小学6年 中学1年	
58		イ う歯による喪失歯数(M)	う歯が原因で脱落したり、抜去した永久歯の本数。 ※外傷や矯正治療のために抜歯した歯及び抜歯理由や欠損の原因が不明のものは対象外なので、抜歯理由をよく確認すること。	小学6年 中学1年	
59		ウ 処置歯数(F)	処置歯の数	小学6年 中学1年	
60	15備考				

※「疾病・異常者」の取扱いについて

「疾病・異常者数」の各欄には、学校における健康診断で実施された検査項目で学校医又は学校歯科医が疾病・異常と判定した者の人数を入力します。しかし、アレルギー性眼疾患やアレルギー性鼻疾患、アレルギー性皮膚疾患、喘息などのアレルギー性疾患は必ずしも健康診断時に症状が出ているわけではありません。結核患者、心臓疾患、腎臓疾患等も診察のみでは必ずしも診断できません。

健康診断の結果、疾病・異常と判定されなかったが、医療機関において、医師から疾病・異常と診断されており、その旨を学校で把握している者も「疾病・異常者」として取扱います。ただし、治療後など、疾病・異常の疑いがなく、単に「経過観察」と判定された場合には、疾病・異常者には計上しません。

【資料3】 定期健康診断疾病異常調査 調査データの集計（実数）

単位：人

			男 子									女 子									
			小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	
1 在籍者数			2307	2494	2513	2575	2590	2627	2218	2350	2427	2303	2384	2451	2381	2531	2571	2155	2193	2212	
2 受診者数			2282	2467	2490	2550	2551	2575	2144	2209	2271	2284	2376	2426	2361	2508	2515	2094	2054	2052	
3 栄養状態	(1)栄養不良		1	2	2	4	8	13	18	8	11	1	3	3	10	7	8	23	10	11	
	(2)肥満傾向		27	50	75	105	112	109	50	57	44	18	40	50	45	67	60	27	27	20	
4 脊柱胸郭 四肢	疾病・異常者数		19	2	8	11	10	19	16	27	53	7	11	16	9	9	27	23	35	45	
	(1)脊柱側わん症・脊柱異常		6	1	3	7	6	16	7	15	19	2	5	4	8	5	22	17	23	34	
	(2)胸郭異常		0	0	0	0	1	1	1	4	9	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	(3)四肢異常		13	1	5	4	3	2	8	8	26	5	5	12	2	4	6	8	13	11	
5 視力	裸眼 視力	裸眼視力測定者 (1)～(4)の合計	2252	2418	2395	2348	2253	2231	1809	1795	1790	2256	2313	2317	2172	2182	2090	1615	1500	1328	
		(1)1.0以上	1536	1574	1501	1349	1192	1189	815	799	713	1493	1451	1310	1129	1073	985	701	523	442	
		(2)1.0未満0.7以上	428	415	345	351	330	305	249	247	242	477	437	382	326	296	290	242	236	198	
		(3)0.7未満0.3以上	253	308	334	374	410	386	392	358	431	229	318	379	411	447	415	350	353	311	
		(4)0.3未満	35	121	215	274	321	351	353	391	404	57	107	246	306	366	400	322	388	377	
	裸眼視力測定者のうち眼鏡・コンタクト装用者		47	55	113	158	220	230	178	188	222	35	56	121	191	283	334	194	211	213	
眼鏡・コンタクト装用のため矯正視力のみ測定者		38	65	110	207	306	364	368	459	538	46	68	125	200	330	450	505	607	780		
6 眼疾患	受診者		2268	2439	2466	2513	2512	2539	2107	2167	2218	2272	2343	2405	2341	2474	2502	2050	2002	1988	
	疾病・異常者数		186	181	204	235	240	238	178	155	164	162	148	147	161	188	181	117	114	124	
	(1)感染性眼疾患		0	1	1	0	0	0	0	2	1	0	1	0	1	0	1	0	2	1	
	(2)アレルギー性眼疾患		133	128	159	174	186	178	129	111	117	102	91	91	113	134	140	76	79	88	
	(3)その他の眼疾患		59	56	51	67	57	64	49	43	47	64	56	58	51	56	42	42	35	36	
7 聴力	受診者		2302	2481	2504	/	2567	/	2177	/	2313	2303	2382	2450	/	2515	/	2121	/	2120	
	難聴		18	20	12	/	11	/	16	/	13	18	13	11	/	12	/	17	/	16	
8 耳鼻咽喉 科疾患	受診者		2271	2455	2479	2528	2530	2553	2100	2163	2241	2280	2354	2410	2348	2473	2536	2035	1983	1968	
	(1)耳疾患		158	147	109	138	117	143	115	144	145	197	137	108	137	94	109	104	74	72	
	(2)鼻・副鼻腔疾患		400	394	399	471	467	439	353	306	349	236	239	257	268	276	244	235	214	222	
	ア アレルギー性鼻疾患		236	277	282	368	381	357	266	239	273	144	165	200	206	226	200	193	179	194	
	イ その他の鼻・副鼻腔疾患		182	136	129	114	89	88	90	73	81	97	85	62	64	55	45	42	38	29	
(3)口腔咽喉頭疾患		7	8	7	7	5	3	2	1	2	4	4	4	1	6	1	1	0	2		
9 皮膚疾患	(1)感染性皮膚疾患		1	1	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(2)アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎)		69	62	84	98	90	104	43	42	48	62	66	78	87	83	82	42	49	42	
	(3)アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎以外)		13	12	26	33	29	26	18	23	27	20	10	27	15	24	27	9	26	20	
	(4)その他の皮膚疾患		10	24	15	26	11	13	2	5	8	13	29	17	16	14	11	4	10	8	
10 結核	受診者		2293	2482	2499	2559	2567	2605	2154	2231	2282	2297	2379	2437	2371	2517	2544	2099	2065	2078	
	(1)結核患者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(2)精密検査対象者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
11 心臓	受診者(心電図検査)		2287	/	/	/	/	/	2155	/	/	2287	/	/	/	/	/	2097	/	/	
	(1)心臓疾患		22	14	7	14	8	12	24	10	16	22	14	7	14	8	12	18	12	10	
	(2)心電図異常		50	/	/	/	/	/	28	/	/	50	/	/	/	/	/	40	/	/	
12 検尿	受診者		2302	2484	2506	2562	2583	2609	2191	2279	2331	2303	2381	2443	2374	2521	2553	2114	2129	2085	
	(1)尿蛋白検出		1	1	4	7	7	18	40	51	56	4	4	6	7	17	35	37	35	26	
	(2)尿糖検出		1	0	0	1	5	1	2	4	5	3	3	5	0	3	4	1	4	4	
13 その他	(1)気管支喘息		95	82	81	90	80	87	66	60	67	63	63	49	59	54	66	52	38	49	
	(2)腎臓疾患		4	6	6	7	7	9	10	11	13	10	12	14	15	16	15	17	10	11	
	(3)言語障害		6	9	7	11	9	2	2	5	1	6	3	1	2	2	1	1	1	4	
	(4)その他の疾病・異常		20	14	11	17	15	21	30	31	60	11	9	10	9	14	18	29	34	41	
14 歯科	(1)歯科受診者		2274	2464	2466	2541	2540	2572	2136	2197	2261	2289	2371	2414	2358	2500	2525	2088	2042	2054	
	(2)う歯 ・要観察歯	乳歯又は永 久歯のう歯	ア 処置完了者	261	416	592	595	548	439	379	359	423	261	366	497	528	485	409	425	394	434
		ウ 永久歯のう歯経験者	イ 未処置歯のある者	330	383	382	431	394	300	168	177	241	334	360	423	392	306	264	221	195	227
			エ 乳歯又は永久歯に要観察歯のある者	28	54	118	213	301	380	437	488	626	45	83	156	211	333	439	563	573	645
				110	171	208	212	235	253	258	272	351	127	187	213	225	252	276	330	324	382
	(3)歯肉 の状態	ア 歯周疾患	10	20	37	53	50	68	14	24	33	5	14	25	50	27	48	12	16	13	
		イ 歯周疾患要観察者	65	165	228	292	284	337	250	260	326	66	148	220	239	226	293	230	182	191	
	(4)歯列・咬合の異常		20	61	48	93	63	62	51	56	57	28	73	76	85	76	99	53	59	50	
	(5)顎関節の異常		0	1	0	5	8	9	2	5	1	0	0	0	2	2	6	1	0	4	
	(6)歯垢の状態		38	72	65	102	90	104	51	55	61	35	37	58	86	44	80	50	40	34	
	(7)その他の歯・口腔の疾病・異常		31	36	22	19	20	10	23	17	21	38	33	21	21	19	17	18	12	21	
	(8)永久歯の う歯の内容	ア 未処置歯数(D)		/	/	/	/	/	305	249	/	/	/	/	/	/	298	376	/	/	
		イ う歯による喪失歯数(M)		/	/	/	/	/	4	29	/	/	/	/	/	/	3	16	/	/	
		ウ 処置歯数(F)		/	/	/	/	/	465	665	/	/	/	/	/	/	616	965	/	/	

【資料3】 定期健康診断疾病異常調査 調査データの集計（割合）

単位：％

			男 子									女 子										
			小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3		
1 在籍者数			----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----		
2 受診者数			98.92	98.92	99.08	99.03	98.49	98.02	96.66	94.00	93.57	99.17	99.66	98.98	99.16	99.09	97.82	97.17	93.66	92.77		
3 栄養状態	(1)栄養不良		0.04	0.08	0.08	0.16	0.31	0.50	0.84	0.36	0.48	0.04	0.13	0.12	0.42	0.28	0.32	1.10	0.49	0.54		
	(2)肥満傾向		1.18	2.03	3.01	4.12	4.39	4.23	2.33	2.58	1.94	0.79	1.68	2.06	1.91	2.67	2.39	1.29	1.31	0.97		
4 脊柱胸郭 四肢	疾病・異常者数		0.83	0.08	0.32	0.43	0.39	0.74	0.75	1.22	2.33	0.31	0.46	0.66	0.38	0.36	1.07	1.10	1.70	2.19		
	(1)脊柱側わん症・脊柱異常		0.26	0.04	0.12	0.27	0.24	0.62	0.33	0.68	0.84	0.09	0.21	0.16	0.34	0.20	0.87	0.81	1.12	1.66		
	(2)胸郭異常		0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	0.04	0.05	0.18	0.40	0.00	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	(3)四肢異常		0.57	0.04	0.20	0.16	0.12	0.08	0.37	0.36	1.14	0.22	0.21	0.49	0.08	0.16	0.24	0.38	0.63	0.54		
5 視力	裸眼	裸眼視力測定者 (1)～(4)の合計	99.26	99.56	99.68	99.22	98.80	98.78	98.15	95.91	95.92	99.96	99.87	99.63	99.62	99.25	98.79	98.38	96.08	95.30		
	視力	(1)1.0以上	68.21	65.10	62.67	57.45	52.91	53.29	45.05	44.51	39.83	66.18	62.73	56.54	51.98	49.18	47.13	43.41	34.87	33.28		
		(2)1.0未満0.7以上	19.01	17.16	14.41	14.95	14.65	13.67	13.76	13.76	13.52	21.14	18.89	16.49	15.01	13.57	13.88	14.98	15.73	14.91		
		(3)0.7未満0.3以上	11.23	12.74	13.95	15.93	18.20	17.30	21.67	19.94	24.08	10.15	13.75	16.36	18.92	20.49	19.86	21.67	23.53	23.42		
		(4)0.3未満	1.55	5.00	8.98	11.67	14.25	15.73	19.51	21.78	22.57	2.53	4.63	10.62	14.09	16.77	19.14	19.94	25.87	28.39		
	裸眼視力測定者のうち眼鏡・コンタクト装用者		2.09	2.27	4.72	6.73	9.76	10.31	9.84	10.47	12.40	1.55	2.42	5.22	8.79	12.97	15.98	12.01	14.07	16.04		
	眼鏡・コンタクト装用のため矯正視力のみ測定者		1.66	2.62	4.39	8.10	11.96	14.03	16.90	20.36	23.11	2.00	2.86	5.12	8.43	13.14	17.72	23.82	28.81	37.00		
6 眼疾患	受診者		98.31	97.79	98.13	97.59	96.99	96.65	95.00	92.21	91.39	98.65	98.28	98.12	98.32	97.75	97.32	95.13	91.29	89.87		
	疾病・異常者数		8.20	7.42	8.27	9.35	9.55	9.37	8.45	7.15	7.39	7.13	6.32	6.11	6.88	7.60	7.23	5.71	5.69	6.24		
	(1)感染性眼疾患		0.00	0.04	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	0.05	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00	0.10	0.05		
	(2)アレルギー性眼疾患		5.86	5.25	6.45	6.92	7.40	7.01	6.12	5.12	5.28	4.49	3.88	3.78	4.83	5.42	5.60	3.71	3.95	4.43		
	(3)その他の眼疾患		2.60	2.30	2.07	2.67	2.27	2.52	2.33	1.98	2.12	2.82	2.39	2.41	2.18	2.26	1.68	2.05	1.75	1.81		
7 聴力	受診者		99.78	99.48	99.64	/	99.11	/	98.15	/	95.30	100.00	99.92	99.96	/	99.37	/	98.42	/	95.84		
	難聴		0.78	0.81	0.48	/	0.43	/	0.73	/	0.56	0.78	0.55	0.45	/	0.48	/	0.80	/	0.75		
8 耳鼻咽喉 科疾患	受診者		98.44	98.44	98.65	98.17	97.68	97.18	94.68	92.04	92.34	99.00	98.74	98.33	98.61	97.71	98.64	94.43	90.42	88.97		
	(1)耳疾患		6.96	5.99	4.40	5.46	4.62	5.60	5.48	6.66	6.47	8.64	5.82	4.48	5.83	3.80	4.30	5.11	3.73	3.66		
	(2)鼻・副鼻腔疾患		17.61	16.05	16.10	18.63	18.46	17.20	16.81	14.15	15.57	10.35	10.15	10.66	11.41	11.16	9.62	11.55	10.79	11.28		
	ア アレルギー性鼻疾患		10.39	11.28	11.38	14.56	15.06	13.98	12.67	11.05	12.18	6.32	7.01	8.30	8.77	9.14	7.89	9.48	9.03	9.86		
	イ その他の鼻・副鼻腔疾患		8.01	5.54	5.20	4.51	3.52	3.45	4.29	3.37	3.61	4.25	3.61	2.57	2.73	2.22	1.77	2.06	1.92	1.47		
9 皮膚疾患	(3)口腔咽喉頭疾患		0.31	0.33	0.28	0.28	0.20	0.12	0.10	0.05	0.09	0.18	0.17	0.17	0.04	0.24	0.04	0.05	0.00	0.10		
	(1)感染性皮膚疾患		0.04	0.04	0.08	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	(2)アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎)		3.02	2.51	3.37	3.84	3.53	4.04	2.01	1.90	2.11	2.71	2.78	3.22	3.68	3.31	3.26	2.01	2.39	2.05		
	(3)アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎以外)		0.57	0.49	1.04	1.29	1.14	1.01	0.84	1.04	1.19	0.88	0.42	1.11	0.64	0.96	1.07	0.43	1.27	0.97		
10 結核	(4)その他の皮膚疾患		0.44	0.97	0.60	1.02	0.43	0.50	0.09	0.23	0.35	0.57	1.22	0.70	0.68	0.56	0.44	0.19	0.49	0.39		
	受診者		99.39	99.52	99.44	99.38	99.11	99.16	97.11	94.94	94.03	99.74	99.79	99.43	99.58	99.45	98.95	97.40	94.16	93.94		
	(1)結核患者		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	(2)精密検査対象者		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
11 心臓	受診者(心電図検査)		99.13	/	/	/	/	/	97.16	/	/	99.39	/	/	/	/	/	97.31	/	/		
	(1)心臓疾患		0.96	0.57	0.28	0.55	0.31	0.47	1.12	0.45	0.70	0.83	0.55	0.58	0.38	0.68	0.20	0.86	0.58	0.49		
	(2)心電図異常		2.19	/	/	/	/	/	1.30	/	/	1.75	/	/	/	/	/	1.91	/	/		
12 検尿	受診者		99.78	99.60	99.72	99.50	99.73	99.31	98.78	96.98	96.04	100.00	99.87	99.67	99.71	99.60	99.30	98.10	97.08	94.26		
	(1)尿蛋白検出		0.04	0.04	0.16	0.27	0.27	0.69	1.83	2.24	2.40	0.17	0.17	0.25	0.29	0.67	1.37	1.75	1.64	1.25		
	(2)尿糖検出		0.04	0.00	0.00	0.04	0.19	0.04	0.09	0.18	0.21	0.13	0.13	0.20	0.00	0.12	0.16	0.05	0.19	0.19		
13 その他	(1)気管支喘息		4.16	3.32	3.25	3.53	3.14	3.38	3.08	2.72	2.95	2.76	2.65	2.02	2.50	2.15	2.62	2.48	1.85	2.39		
	(2)腎臓疾患		0.18	0.24	0.24	0.27	0.27	0.35	0.47	0.50	0.57	0.44	0.51	0.58	0.64	0.64	0.60	0.81	0.49	0.54		
	(3)言語障害		0.26	0.36	0.28	0.43	0.35	0.08	0.09	0.23	0.04	0.26	0.13	0.04	0.08	0.08	0.04	0.05	0.05	0.19		
	(4)その他の疾病・異常		0.88	0.57	0.44	0.67	0.59	0.82	1.40	1.40	2.64	0.48	0.38	0.41	0.38	0.56	0.72	1.38	1.66	2.00		
14 歯科	(1)歯科受診者		98.57	98.80	98.13	98.68	98.07	97.91	96.30	93.49	93.16	99.39	99.45	98.49	99.03	98.78	98.21	96.89	93.11	92.86		
	(2)う歯・要観察歯	乳歯又は永久歯のうち	ア 処置完了者		11.48	16.88	24.01	23.42	21.57	17.07	17.74	16.34	18.71	11.40	15.44	20.59	22.39	19.40	16.20	20.35	19.29	21.13
		イ 未処置歯のある者		14.51	15.54	15.49	16.96	15.51	11.66	7.87	8.06	10.66	14.59	15.18	17.52	16.62	12.24	10.46	10.58	9.55	11.05	
		ウ 永久歯のうち	経験者		1.23	2.19	4.79	8.38	11.85	14.77	20.46	22.21	27.69	1.97	3.50	6.46	8.95	13.32	17.39	26.96	28.06	31.40
			エ 乳歯又は永久歯に要観察歯のある者		4.84	6.94	8.43	8.34	9.25	9.84	12.08	12.38	15.52	5.55	7.89	8.82	9.54	10.08	10.93	15.80	15.87	18.60
	(3)歯肉の状態	ア 歯周疾患	0.44	0.81	1.50	2.09	1.97	2.64	0.66	1.09	1.46	0.22	0.59	1.04	2.12	1.08	1.90	0.57	0.78	0.63		
		イ 歯周疾患要観察者	2.86	6.70	9.25	11.49	11.18	13.10	11.70	11.83	14.42	2.88	6.24	9.11	10.14	9.04	11.60	11.02	8.91	9.30		
	(4)歯列・咬合の異常		0.88	2.48	1.95	3.66	2.48	2.41	2.39	2.55	2.52	1.22	3									

令和 5 年度 足立区学校保健統計書

令和 7 年 3 月 発行

発 行 足立区教育委員会

編 集 足立区学校運営部学務課

足立区中央本町 1－17－1

電話 03－3880－5971